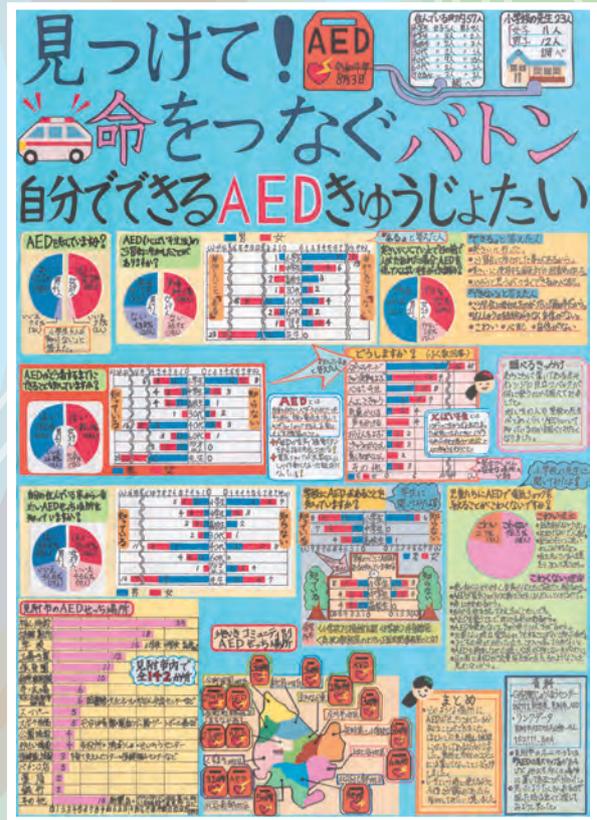


第70回

統計グラフ全国コンクール

入賞作品集



文部科学大臣賞
(パソコン統計グラフの部 特選)

総務大臣賞
(第2部 特選)

統計グラフ全国コンクールに 応募しよう!

総務省政策統括官
(統計制度担当)

は し が き

統計グラフ全国コンクールは、昭和28年に第1回のコンクールが実施されて以来、今回で70回を数えます。

年々、統計グラフへの関心が高まり、また、小学校、中学校及び高等学校の新しい学習指導要領で統計教育の内容の充実が図られたこともあり、表現技術も格段と向上してきており、優れた作品が数多く寄せられています。

この作品集は、特選6点、入選52点、佳作110点、奨励賞2点の合計170点を掲載しています。これらの作品は、いずれも、テーマの選定、表現に創意がこらされ、それぞれ自分で観察した結果や各種の統計資料を整理し、わかりやすいグラフ構成とほどよい配色で、効果的にまとめられています。

統計が私達の生活に深いかかわりを持っていることから、この作品集が、今後、統計の正しい作り方、見方、使い方を知り、統計グラフに興味と親しみをもたれるきっかけになれば幸いです。

令和5年3月

総務省政策統括官（統計制度担当）付
統計企画管理官室

も く じ

はしがき	1
令和4年度の統計グラフ全国コンクールの概要	2
第70回統計グラフ全国コンクール入賞作品一覧	3
第1部（小学校1,2年生の児童）特選、入選、佳作、奨励賞	11
第2部（小学校3,4年生の児童）特選、入選、佳作、奨励賞	25
第3部（小学校5,6年生の児童）特選、入選、佳作、奨励賞	39
第4部（中学校の生徒）特選、入選、佳作、奨励賞	53
第5部（高等学校以上の生徒・学生及び一般）特選、入選、佳作	67
パソコン統計グラフの部（小学校の児童以上）特選、入選、佳作	77
講評者	91

令和4年度の統計グラフ全国コンクールの概要

第70回統計グラフ全国コンクールは、公益財団法人統計情報研究開発センターが、総務省、文部科学省、全国統計教育研究協議会、日本放送協会、一般社団法人日本統計学会、一般社団法人日本品質管理学会の各団体の後援と、公益財団法人矢野恒太記念会、富士通株式会社の協賛を得て実施しました。

実施に際し、作品の募集、応募作品の第一次審査等で都道府県統計主管課、都道府県統計協会の協力を得ました。

応募実績は、下表のとおり、全国から20,343点の応募があり、都道府県の第一次審査を経て、771点の優秀作品が中央審査に出品されました（中央審査に出品する作品は、部門ごとに応募点数に応じてその点数が決められています。）。

中央審査は、第二次審査（統計グラフとしての正確性、要件の充足状況と全体のまとめ方を重点に審査）と第三次審査（テーマの選択、統計資料の分析・加工、統計グラフの表現技術を重点に審査）の2回行い、特選6点、入選52点、佳作110点、奨励賞2点、合計170点の入賞作品を決定しました。

入賞作品のうち、各部特選については、特別賞（総務大臣賞、文部科学大臣賞、日本統計学会会長賞、日本品質管理学会賞、金丸三郎賞及び石橋信夫賞）が付与されました。

なお、応募に当たって、テーマは自由ですが、第1部及び第2部の作品は、児童が自分で観察または調査した結果をグラフにしたもの、第3部からパソコン統計グラフの部までの各部門は、自分で観察または調査した結果や各種の統計資料を選択してグラフにまとめたものとなっています。

第70回統計グラフ全国コンクールの審査結果

部 門	応募点数	中央審査 出展作品	入賞点数				
			特選	入選	佳作	奨励賞	計
第1部（小学校1・2年生の児童）	1,497	122	1	9	20	0	30
第2部（小学校3・4年生の児童）	2,816	142	1	9	20	0	30
第3部（小学校5・6年生の児童）	3,029	134	1	9	20	1	31
第4部（中学校の生徒）	7,790	151	1	9	20	1	31
第5部（高等学校以上の生徒・学生及び一般）	1,072	65	1	7	10	0	18
パソコン統計グラフの部（小学校の児童以上）	4,139	157	1	9	20	0	30
計	20,343	771	6	52	110	2	170

第70回統計グラフ全国コンクール入賞作品一覧

1 特別賞

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
総務大臣賞	見つけて！命をつなぐボタン 自分でできるAEDきゅうじょたい	新潟県	見附市立名木野小学校	4	大久保 仁 湖
文部科学大臣賞	睡眠時間、見直してみませんか？	静岡県	小山町立北郷中学校	1	天 野 克 哉
日本統計学会 会長賞	アニメが生み出す 消費行動と地域活性化の可能性	長野県	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校	3	小 濱 梓 咲
日本品質管理 学会賞	新潟の人口減少は道の駅が救う!?	新潟県	田上町立羽生田小学校	6	畠 山 紗 来
金丸三郎賞	花巻駅 なん人 おりるかな？	岩手県	花巻市立若葉小学校	2	安 部 哲 司
石橋信夫賞	遠い国の話じゃない！ 深刻な日本の経済格差・教育格差	兵庫県	神戸大学附属中等教育学校	4	横 山 史 織

2 一般賞

◆第1部（小学校1年生及び2年生の児童）◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特 選	花巻駅 なん人 おりるかな？	岩手県	花巻市立若葉小学校	2	安 部 哲 司
入選一席	わかったよ！ほ行しゃ用青しんごうのこと	新潟県	上越市立国府小学校	2	金 子 凜 奈
入 選	じぶんの体をしらべてみよう	岩手県	矢巾町立矢巾東小学校	2	事 崎 秀 音
	ひらがな だいちょうさ	茨城県	利根町立布川小学校	1	小 川 翠 美
	わが家の MADE IN 選手権	神奈川県	座間市立座間小学校	2	谷 水 聖 弥
	メダカがうまれたよ	富山県	砺波市立砺波東部小学校	2	桑 田 一 慶
	アリのすきなものなあ〜んだ？	静岡県	御殿場市立印野小学校	1	岩 瀬 心 菜
	きっとできる！さかあがり	愛知県	豊田市立前山小学校	1	水 口 理 紗 子
	カチカチのアイスクリームをはやくたべたい どのスプーンをつかえばいいのかしらべよう！	徳島県	藍住町立藍住北小学校	1	宮 本 真 聡
	ほくは学校の水ぎがにがて…みんなはどう？	香川県	香川大学教育学部附属高松小学校	2	岡 崎 進 志 郎
佳 作	学どうでは、そとあそびとなかあそび みんなはどっちがすき？	岩手県	一関市立中里小学校	2	齋 藤 怜
	知りたいな みんなのはにかんすること！	福島県	矢吹町立中畑小学校	2	高 久 歩 紀
	みんなだいすき!?	茨城県	水戸市立梅が丘小学校	2	稲 田 千 晴
	すごいぞ！だいでいへんしん!!	茨城県	つくば市立学園の森義務教育学校	2	根 岸 一 華
	グローバル化時代のわたしたち小学2年生 英語のこと、こう思っているよ！	茨城県	つくば市立学園の森義務教育学校	2	栗 林 悠
	くらべてわかった！ごみのりょう	群馬県	桐生市立南小学校	2	宮 崎 亮
	さくらさいたら一年生	東京都	練馬区立豊玉東小学校	1	代 田 絢 子
	ほくのせみとりだいさくせん	東京都	北区立王子第一小学校	1	平 井 佑 樹
	ほくのあさがお	神奈川県	慶應義塾横浜初等部	1	中 川 俊 太
	おこるイライラ みんなの気もちおしえて！	岐阜県	大垣市立安井小学校	2	伊 藤 智 仁

◆第1部（小学校1年生及び2年生の児童）◆ つづき

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
佳 作	学校大すき	岐阜県	大垣市立小野小学校	2	安 藤 吏 槻
	みんなのにゅうししらべ	静岡県	富士市立田子浦小学校	2	穴 山 優 里
	マスクはおすき？	愛知県	岡崎市立三島小学校	2	太 田 小 陽
	しんごうきのひみつ	三重県	津市立草生小学校	1	落 合 匠 人
	すいみん1ばん！ねるまでになん分かかるかな？ 早くねる方ほうをさがそう	大阪府	河内長野市立長野小学校	2	杉 原 あおい
	セミに会うならあさ？夕方？	奈良県	大和高田市立高田小学校	2	富士枝 龍
	まい日、おせわになっています！ わたしの家のモノ！	島根県	浜田市立旭小学校	2	岡 本 悠 里
	おいしくそだて！わたしのやさい	香川県	丸亀市立城西小学校	2	海老原 碧 結
	あさがお たくさん さいたよ	愛媛県	松山市立久枝小学校	1	山 内 陽 翔
	どうしてないているの？	福岡県	福岡教育大学附属福岡小学校	1	家 元 武 蔵
何かかな？	沖縄県	うるま市立兼原小学校	2	荻 堂 禾 夏	

◆第2部（小学校3年生及び4年生の児童）◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特 選	見つけて！命をつなぐバトン 自分でできるAEDきゅうじょたい	新潟県	見附市立名木野小学校	4	大久保 仁 湖
入選一席	これできみもグラフ博士 ～こんなグラフ知ってる？～	愛知県	豊田市立前山小学校	4	水 口 優 莉 子
入 選	小学生の悩み調査 ～きつと友達が相談にのってくれる～	群馬県	桐生市立川内小学校	4	鈴 木 結 望
	あついさい玉の電気をまもれ！	埼玉県	加須市立大利根東小学校	3	安 藤 颯 佑
	ポイ捨てが多い場所を探せ！	神奈川県	横浜市立幸ヶ谷小学校	4	榎 本 梓 乃
	近くの公園 遠くの公園 新発田の公園大調査	新潟県	新発田市立住吉小学校	4	本 田 愛 乃
	みんなはどう思う？コロナでかわる運動会	香川県	高松市立太田南小学校	4	林 葵 理
	あなたは、そのマスクはずせますか？	愛媛県	西条市立西条小学校	4	高 木 陽 向
	みんなの指もん大調査	高知県	学校法人高知学園高知小学校	4	本 田 桐 彩
1から1000までの数の約数の個数大調査	大分県	大分市立春日町小学校	4	月 村 天 洋	
佳 作	未来の地球を守ろう!! ～今を知り、私たちにできること～	宮城県	名取市立下増田小学校	4	佐 藤 凜
	たくさん話したいな 大切な家族	福島県	矢吹町立矢吹小学校	3	大 竹 真 緒
	矢吹町調査	福島県	矢吹町立矢吹小学校	3	芳 賀 知 優
	わたしたちが生きるために大切なもの ～世界中の子どもたちが 幸せになれるといいな～	茨城県	常陸太田市立機初小学校	4	和 田 実 花
	MOTTAINAI!! 身近なことからはじめよう ～地球温暖化を防ぐために 乙戸小のみんなができること～	茨城県	土浦市立乙戸小学校	4	高 山 心 和
	Made in わたしの身の回りのものは 世界のどこでつくられた??	群馬県	伊勢崎市立宮郷第二小学校	3	原 菜 渚

◆第2部 (小学校3年生及び4年生の児童)◆ つづき

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
佳 作	お父さん・お母さん 私たちの心分かってますか	千葉県	茂原市立東郷小学校	3	齋 藤 凜 奈
	日本で見られる84星座	東京都	板橋区立北前野小学校	4	笛 木 和夏子
	せみのぬけがらしらべ	富山県	富山市立針原小学校	3	飯 野 巽
	自然エネルギーを利用しよう!! ソーラーパネル調べ	岐阜県	大垣市立墨俣小学校	4	中 野 柚 希
	みんなでふやそうふわふわ言葉	静岡県	静岡市立南藁科小学校	3	長 嶋 義 晃
	わくわくドキドキ学校ペア活動	静岡県	静岡市立葵小学校	3	大 江 真友人
	さがそう!裾野市の「いいね」	静岡県	裾野市立西小学校	4	杉 山 紀 衣
	日本人はなぜ長生き?	静岡県	静岡市立森下小学校	3	月 田 佳菜子
	おすし大すき 大ちょうさ	愛知県	岡崎市立三島小学校	3	安 枝 敬 登
	わたしの住む町内54人に聞いたよ おとずれたことがある都道府県はどこ? いくつ?	大阪府	河内長野市立長野小学校	4	杉 原 みどり
	トマトのひみつを探れ!	広島県	学校法人安田学園安田小学校	3	大 原 陽茉莉
	ぼくの学校のユニバーサルデザイン大調査!!	徳島県	美馬市立脇町小学校	4	田 上 太 陽
	給食大調査	香川県	東かがわ市立大内小学校	4	白 湯 咲 弥
	何を食べているの?学校給食	佐賀県	小城市立牛津小学校	3	岡 田 愛 未

◆第3部 (小学校5年生及び6年生の児童)◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特 選	新潟の人口減少は道の駅が救う!?	新潟県	田上町立羽生田小学校	6	畠 山 紗 来
入選一席	6年間通学路のポイ捨てゴミ調査をしたら 見えてきた 私たちを取りまく環境の変化	長野県	岡谷市立神明小学校	6	信 澤 卓 実
入 選	始めよう!家族みんなで適塩生活	岩手県	盛岡市立城北小学校	6	折 居 潤 希 綾
	大活躍!みんなのタブレット大調査	茨城県	日立市立成沢小学校	5	山 本 紗 葵
	日本の美しい技を未来につなげ 伝統的工芸品の今	埼玉県	三郷市立吹上小学校	5	山 本 萌
	調べてみたよ!みんなの関心・報道を 世界で何が起きている? -報道量からみる国際紛争-	新潟県	新潟大学附属長岡小学校	6	田 村 昂 大
	くだもの王国山梨	山梨県	山梨学院小学校	5	石 坂 優 衣
	後方発進の危険性を知ってほしい	山口県	山口市立白石小学校	5	大 田 あかり
	地方ナンバープレート調査	高知県	南国市立大篠小学校	5	藤 田 朗 楽
	公衆電話~いざという時のために~	佐賀県	佐賀市立北川副小学校	6	中 溝 蓮 月
佳 作	水を大切に!	北海道	釧路市立釧路小学校	6	本 間 明 音
	あと6年で大人になれる?	福島県	福島大学附属小学校	6	松 崎 志 歩
	地球の未来はどうなる? 身近なゴミから考える SDGs	茨城県	日立市立豊浦小学校	6	森 嶋 明日香

◆第3部 (小学校5年生及び6年生の児童)◆ つづき

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
佳 作	地域から世界へつながる地産地消	茨城県	下妻市立下妻小学校	5	沼 尻 真美加
	どう思う? どうしたらいい? ゴミとポイ捨て	茨城県	竹園学園つくば市立竹園西小学校	5 5 3 1	内 藤 絢 菜 山 本 彩 瑛 山 本 真 央 内 藤 帆 香
	給食ロス 身近な食品ロスから見直そう	群馬県	桐生市立境野小学校	5	二 渡 咲 花
	未来の地球守りたい	群馬県	桐生市立桜木小学校	5	加 藤 咲 希
	命とまちを守れ!! 暮らしの中に潜む火災	千葉県	大網白里市立大網小学校	6	古 内 碧
	日本の梨!! 世界の梨!!	東京都	荒川区立瑞光小学校	6	戸 田 和
	いいね!! あいさつ調査	富山県	富山市立豊田小学校	5	関 口 眞 佳
	どうして減ったの? 諏訪湖の御神渡り	長野県	茅野市立永明小学校	6	大 島 海 織
	ちりも積もって…地球温暖化	静岡県	御殿場市立御殿場南小学校	6	谷 口 瑞 季
	なぜ重い? 何が重い!?	愛知県	岡崎市立三島小学校	6	野 田 紗恵理
	小6のランドセル・手荷物事情				
	みんなは熱中症大丈夫?	岡山県	総社市立総社小学校	6	尾 島 花 梨
	交通事故で亡くなる方が減っている!?	広島県	学校法人安田学園安田小学校	5	徳 永 美 月
	知りたい!! 教えたい!! 宮島	広島県	学校法人鶴学園なぎさ公園小学校	6 6	井 川 友 希 竹 田 早 希
	おしえて!! みんなの小学校	徳島県	徳島市南井上小学校	5	竹 内 楓 花
	香川に住む外国人の香川愛大調査	香川県	高松市立檀紙小学校	5	松 村 伊千花
	自分は大丈夫は通用しない!? 大雨災害	長崎県	長崎市立西城山小学校	5	田 崎 芽 唯
	Youは何しに高千穂へ?	宮崎県	高千穂町立高千穂小学校	6 4	後 藤 智 寛 後 藤 千 慧
	奨励賞	大切な命を救える未来へ!! ～犬・猫殺処分ゼロを目指して～	石川県	羽咋市立西北台小学校	5

◆第4部 (中学校の生徒)◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特 選	アニメが生み出す 消費行動と地域活性化の可能性	長野県	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校	3	小 濱 梓 咲
入選一席	自転車も乗れば車の仲間入り 免許はなくてもルールを守ろう!	埼玉県	川越市立初雁中学校	2	小 池 ひかる
入 選	ワーキングマザーのハァハァ事情	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢中等部	1	野 畑 璃 桜
	日本の伝統的ものづくり Made in Japan のていねいで豊かなくらし	富山県	射水市立小杉南中学校	1	長谷川 奈 南
	目指せ! 山梨人口100万人計画	山梨県	山梨学院中学校	2	高 野 純 伶
	どれだけ知ってる!? ヤングケアラー	岐阜県	大垣市立興文中学校	2	川 瀬 麻 菜
	ガンバレ!! 中学生	静岡県	富士市立岳陽中学校	1	永 田 帆 乃
	ヤングケアラーの問題と向き合って ～日本の現状～	愛媛県	砥部町立砥部中学校	3 3 3	河 端 希 香 高須賀 柚 奈 山 本 莉 奈
	暗記力 up 大作戦	福岡県	福岡県立嘉穂高等学校附属中学校	2	渡 辺 美 月

◆第4部 (中学校の生徒)◆ つづき

入賞区分	テ ー マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
入 選	ジェンダーギャップって何？	鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属中学校	1	兒 玉 怜 依
佳 作	アイスを買う人が増え続けているワケ	北海道	北海道教育大学附属札幌中学校	2	森 田 愛 子
	山形県民！ビニール傘持ってますか？	山形県	山形県立東桜学館中学校	3	武 田 栞 奈
	The most popular music among junior high school students ～現代の中学生と音楽～	茨城県	日立市立泉丘中学校	2	上 野 夏 実
		茨城県	日立市立泉丘中学校	2	菅 野 絢 音
	環境問題どれだけ知ってる？ ～地球を守る第一歩～	茨城県	日立市立泉丘中学校	2	伊勢田 里 佳
	意識してる？生活習慣病 ～中学生の健康への関心～	茨城県	日立市立泉丘中学校	2	黒 沢 美 友
		茨城県	日立市立泉丘中学校	2	柳 橋 幸 果
	輸入と国内生産のかじをとる 食料自給率37%から45%の挑戦	埼玉県	埼玉大学教育学部附属中学校	1	竹 内 美 咲
	マスク依存	東京都	桜美林中学校	2	松 林 歩 実
	日本は募金に消極的!?	愛知県	岡崎市立竜海中学校	3	荒 川 琴 音
	若者の政治への無関心	滋賀県	滋賀県立守山中学校	2	古 樋 理 紗
	日本人は投資の意識が低い!?	兵庫県	神戸市立本多聞中学校	2	西 智 穂
	目指せ！世界最高水準80% 日本のキャッシュレス社会	兵庫県	啓明学院中学校	2	倉 田 栞 帆
		兵庫県	啓明学院中学校	2	河 野 冴 香
		兵庫県	啓明学院中学校	2	小 西 悠 月
	旅行動向調査	兵庫県	神戸大学附属中等教育学校	2	田 先 杏 奈
	塩・少々・推奨運動	奈良県	王寺町立王寺南義務教育学校	8	山 田 将 之
	原発全廃 賛成？反対？	和歌山県	和歌山県立向陽中学校	3	岸 本 彩 乃
	一人ひとりが生きやすく ～LGBTQ +～	岡山県	岡山県立岡山操山中学校	2	松 本 心 美
	広島産松茸を食べたい	広島県	広島大学附属東雲中学校	2	伊 東 琥 子
意外と知らない?!私の地元 山口県防府市の歴史的文化財調査	山口県	防府市立国府中学校	1	高 田 紫 桜	
18歳は成人 消費者トラブルに注意	徳島県	徳島県立城ノ内中等教育学校	3	浜 田 紗 英	
日本人 働きすぎ!	徳島県	徳島県立城ノ内中等教育学校	3	四 宮 奈 幸	
家ジ・育ジ、夫の本気を見せるとき!?	宮崎県	日南市立鶴戸中学校	3	大 迫 美 友	
奨励賞	ススム視力低下! ～近視の理由は睡眠不足!?	秋田県	大仙市立西仙北中学校	3	鈴 木 美 穂
		秋田県	大仙市立西仙北中学校	2	田 口 愛 彩

◆第5部 (高等学校以上の生徒、学生及び一般)◆

入賞区分	テ ー マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
特 選	遠い国の話じゃない! 深刻な日本の経済格差・教育格差	兵庫県	神戸大学附属中等教育学校	4	横 山 史 織
入選一席	自己肯定感と投票率のつながり	広島県	角川ドワンゴ学園N高等学校	3	竹 内 ころろ
入 選	消えゆく?!中学部活動	宮城県	一般		佐 藤 久 美
	吃音で悩まない社会へ	新潟県	新潟県立津南中等教育学校	6	中 澤 仁 成
	外国語使用の重要度は日々低下中!?	京都府	京都産業大学附属高等学校	3	井 倉 帆 香
	投票率について知ろう	兵庫県	神戸大学附属中等教育学校	4	岩 切 明日香

◆第5部（高等学校以上の生徒、学生及び一般）◆ つづき

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
入 選	スズメが減っているって本当？ 目指せ日本一！ だれもが働きやすい大分へ	兵庫県	神戸大学附属中等教育学校	4	増 田 咲 希
		大分県	大分県立鶴崎工業高等学校	2	宇留島 優 衣
佳 作	梅毒が増えている！ 日本人なら米を食おう！	東京都	吉祥女子高等学校	1	森 井 杏
		長野県	長野県屋代高等学校	1	土 田 柊 柊 富 田 陽 仁 西 村 響 輔 竹 内 大 輔
	気づかないだけで受けている？！ 身近なハラスメント	岡山県	岡山県立津山工業高等学校	2	福 田 心 愛
	家族の形	岡山県	一般		惣 中 彩
	SDGs がめざす社会へ - L G B T Q + と制服 -	岡山県	岡山県立岡山朝日高等学校	2	佐 野 文 音
	食料自給率から今後の日本を考える	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	1	篠 原 結 衣
	たかがプラスチックされどプラスチック！！ 悪循環を防ぐ最初のステップとは ～未来の自分たちを 自分たちの手で救うために～	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	1	川 崎 万 結 森 沙 夏
	スマホが及ぼす健康被害	福岡県	福岡県立戸畑高等学校	3	久 保 涼 香 栗 原 莉 世 中 村 宙 民 山 田 紗 季
	隠された水 バーチャルウォーター	熊本県	熊本県立第二高等学校	2	井 上 心 結
	若い世代 ほぼテレビ見ない！	大分県	大分県立鶴崎工業高等学校	2	平 野 栞 和

◆パソコン統計グラフの部（小学校の児童以上）◆

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名	
特 選	睡眠時間、見直してみませんか？	静岡県	小山町立北郷中学校	1	天 野 克 哉	
入選一席	統計から考えてみよう 日本の空き家問題	新潟県	新潟県立阿賀黎明高等学校	1	伊 藤 惺 蓮	
入 選	塩分取りすぎな青森県民へ！ リンゴを塩水につける意味ってあるの？	青森県	青森県立弘前中央高等学校	3	小 野 菜 々 子 柴 田 匠 美 小 林 七 海 佐 藤 望 愛 留	
		牛乳って本当に背が伸びるの？	山形県	山形大学附属中学校	3	羽 生 桃 花 東 海 林 心 花
		花が売れる時期はその種類ごとにある	山形県	東北芸術工科大学	3	若 林 実 奈
		検診とワクチンで防ごう！子宮頸がん	栃木県	津田塾大学 宇都宮大学共同教育学部附属中学校	3	岩 佐 雅 葵 岩 佐 葵
	ロードキルを防ぐ	千葉県	千葉県立長生高等学校	3	上 田 柊 翔 渡 邊 雄 太 瀧 口 和 都 平 本 詩 音 北 根 孟 実	
				3		
				2		
				2		
	生理の貧困 ～トイレにナプキンを当たり前～	東京都	実践女子大学	3	中 田 陽 菜 三 浦 未 乃 梨 山 口 瑞 友 田 中 千 秋	
				3		
				3		
				3		

◆パソコン統計グラフの部（小学校の児童以上）◆ つづき

入賞区分	テ - マ	都道府県	学 校 名	学年	制作者氏名
入 選	FAX は時代遅れ？ - 日本の FAX 利用の現状とこれから - 沖縄は本当に暮らしやすい気温なのか!?	東京都	渋谷教育学園渋谷中学校	2	山 澤 綾 乃
		沖縄県	沖縄県立開邦中学校	2	宮 城 昌 宗
佳 作	知っていますか蚊の脅威	北海道	北海道教育大学附属札幌中学校	2	米 田 頼 正
	私たちの Society5.0 ～想像しよう日本の未来～	茨城県	北茨城市立常北中学校	3	石 川 海 輝
	お父さん!! 家事、してる!?	千葉県	茂原市立富士見中学校	2	石 井 杏
	僕たちは選挙に行くべきか?	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢中等部	2	小 林 怜 央
	きれいな空を目指せ! ～航空業界の脱炭素への挑戦～	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢中等部	2	大 冨 涼 太
	越前和紙小史 ～グラフから読み解く越前和紙の歴史～	福井県	越前市武生第一中学校	1	杉 原 孝 明
	物価高騰対策×安全保障≡ SDGs!?	長野県	長野県屋代高等学校附属中学校	2	宮 澤 希 成
	ウクライナ侵攻による世界の経済の影響	岐阜県	大垣市立東中学校	3	安 井 慧 一
	電気自動車普及と戦略の提案	静岡県	小山町立足柄小学校	6	須 藤 煌 司
	地震多発!! 地震への備えは出来ている?	愛知県	岡崎市立竜美丘小学校	5	古 田 六 花
	学校でのけがに気をつけよう	三重県	高田中学校	2	山 手 智 生
	私たちの食を支える農業の現状 ～ウクライナ危機から考える 日本の穀物供給～	三重県	津市立久居東中学校	3	畑 慧 亮
				3	辻 泰 河
				3	高 橋 蒼 大
				3	鎌 田 琉 汰
				3	長 井 大 輔
	兵庫県と東京都 労働条件の比較	兵庫県	丹波市立柏原中学校	3	山 下 遥 花
	増える空き家、迫る戦略!	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	1	西 井 颯 杜
	荒れ狂う地球環境をあなたはどうか防ぐ?	広島県	東広島市立西条中学校	3	和 泉 光太郎
	3			辻 雄 仁	
	2			西 山 啓 太	
	我が家の製品輸入を考える	徳島県	徳島市応神小学校	5	槇 野 希 美
	愛媛の心疾患	愛媛県	松山市立鴨川中学校	1	佐 伯 桃 奈
気候危機～地球が出した SOS～	佐賀県	佐賀大学教育学部附属中学校	2	田 口 夢 彩	
STOP! 地球温暖化 Let's エコライフ! 二酸化炭素 CO2の削減へ	長崎県	南島原市立有家中学校	3	隈 部 美 有	
わったー学校ぬくしぶさん!	沖縄県	うるま市立津堅小中学校 (中学生)	2	安 里 陽 菜	
			2	宮 城 瑛 兔	
			1	玉 城 龍 希	
			1	仲 村 鈴 愛	
			1	宮 城 愛 兔	

第 1 部

(小学校1・2年生の児童)

— 概 要 —

今年も楽しい作品を多数応募していただき、大変感謝します。受賞作品を見てみると、日ごろの悩みや課題、気になったことについて、独自に調べるポイントを考え、実際に調べ、上手に統計グラフを使って表現している点、素晴らしいと思います。その課題も学校生活で気になることや社会生活に関する、自身の体に関係することなど、さまざまなテーマがあり、楽しく拝見させていただきました。いくつかの作品では、動機や予想を最初に立て、これらを踏まえた丁寧な測定を行っており、統計グラフやイラストも丁寧に作っており、最後にまとめて気づきを紹介するなど、一連の統計的問題解決の流れ、探究学習が身につくように、学年が上がるごとにいろいろ調べる力がついていると感じます。統計グラフも、特選の作品のように平日と週末など、二つの比較はもちろんのこと、その変化や異常値を見逃さないなど、興味深い作品も多かったように思います。惜しくも入選できなかった作品でも、毎日の測定や多くの個体数を調べているものがあり、これらも評価できます。ちなみに最終的に何が分かったか、予想と違っていたらそれはなぜかなど、もう少し分析が深まるとさらに良かったかなと思う作品もありました。大切なことはデータから分かったことを他者が見ても分かり易く表現することですので、次回はその辺りも意識して作成してもらえたらさらに素晴らしい作品ができると思います。

特選

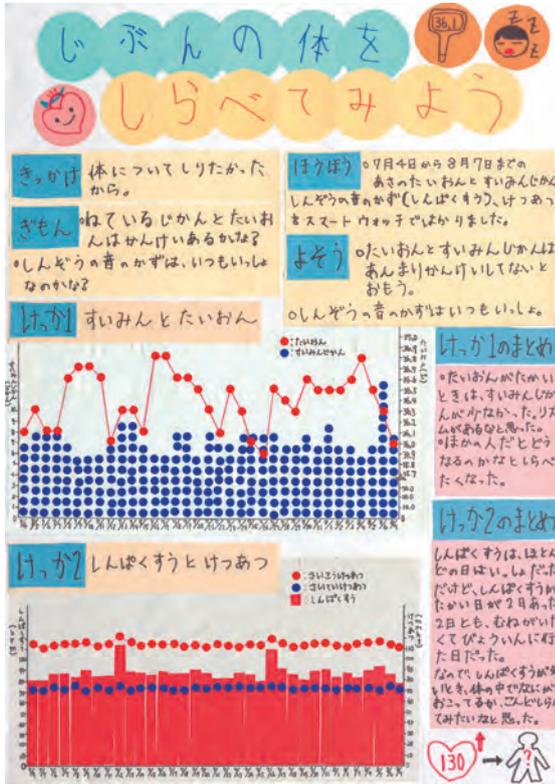
金丸三郎賞



岩手県花巻市立若葉小学校
2年 安部 哲 司

自分の好きな電車のことで気になった人の乗り降りの人数について、予想を立て、平日と週末の比較を通じて、そこでの気づきを上手に統計グラフポスターにまとめています。計測方法も一日中ではなく、6回と無理のない回数ですが、実際には大変だったと思います。それでも、楽しみながらカウントしている様子がかがえしました。駅員さんにインタビューをして結果の確認をしている点も良かったです。

◎入選



岩手県矢巾町立矢巾中東小学校
2年 事 崎 秀 音

自分の体のことが気になり、睡眠時間と体温、心拍数と血圧のそれぞれを、一つのグラフに表現し、一方を折れ線グラフに、他方を棒グラフや棒グラフにしている点は面白いです。それぞれのグラフの動きを比較して、関係の有り無しを丁寧に見えています。特に、2回あった特別な日を見逃さずに、その原因を検討している点は分析の基本で、良かったと思います。



茨城県利根町立布川小学校
1年 小 川 翠 美

小学1年生らしい、ひらがなに関するランキングを丁寧に調べていて素晴らしいです。単に「すきなひらがな」だけでなく、「よむとかくのどちらがとくい(すき)か」や「むずかしいとおもうひらがな」などは、なるほどと思う質問です。全体的に、きっかけからデータ、最後に「思ったこと」としてまとめがあることも良かったです。複数回答の質問を作ったのも良かったです。

小学校1・2年生の児童

入選 第1部

小学校1・2年生の児童

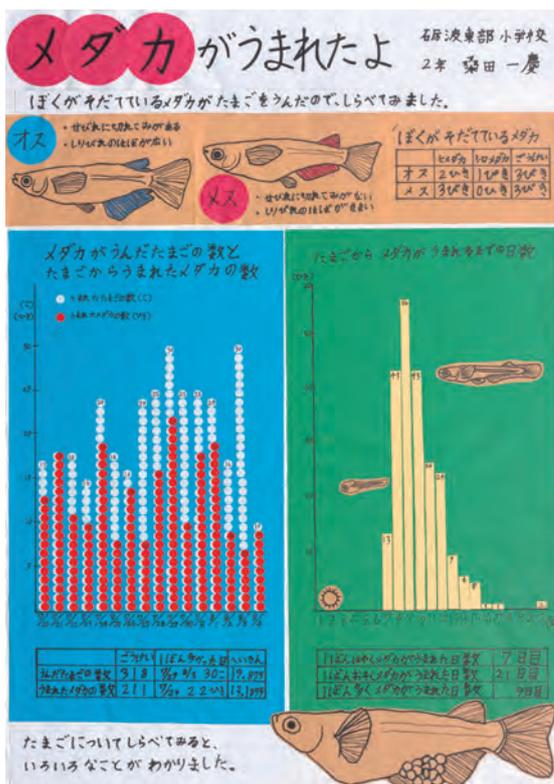
神奈川県座間市立座間小学校 2年 谷水 聖弥

家の中にある物の生産地を調べ、丁寧に国旗などの関連のイラストをを使いつつ、適切な絵グラフにまとめていて良かったと思います。最初に予想した二国のうち、中国は予想どおりで、もう一つのアメリカは全くなかったのは不思議です。なぜなかったのかを調べるとさらに理解が深まるかもしれません。今度は食べ物や日本産についてもその産地を調べるのも面白いかもしれませんね。



富山県砺波市立砺波東部小学校 2年 桑田 一慶

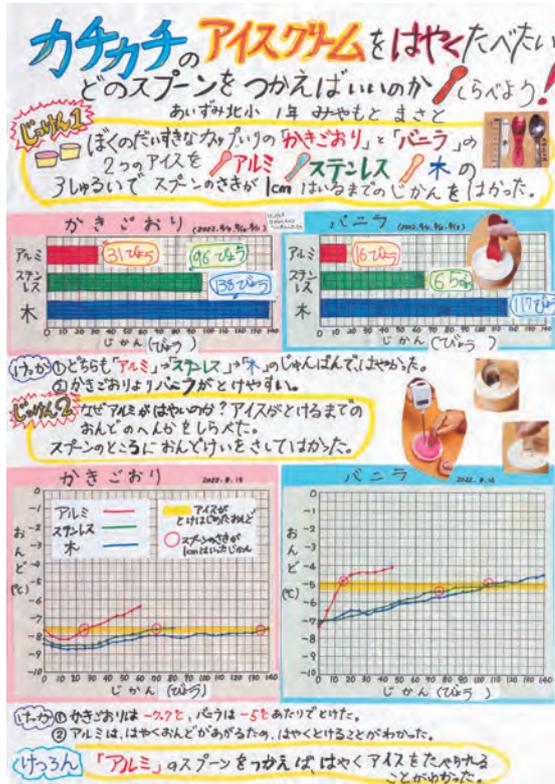
とても多い卵の数を調べている点は驚きです。産んだ卵の数と生まれたメダカの数、産まれるまでの日数など、毎日の測定は大変だったのではと思います。グラフを見ると、必ずしも全部の卵からメダカが産まれるわけではないことや、産まれるまでの日数が大きく外れたメダカもいるなど、いくつか気づきがあったと思います。それらをまとめて書かれるとさらに良かったと思います。



徳島県藍住町立藍住北小学校

1年 宮本 真聡

どのスプーンを使えば早く食べられるかという課題を、いろいろな方法で探っている点は興味深いですね。特に実験2の、スプーンを入れた近くの温度の違いを検証し、圧倒的にアルミのスプーンが他の2つと比べて温度の変化が大きいことが一見して分かり易く表現されている点は素晴らしいと思います。写真を用いて、具体的にどのように実験したかも分かり易くしている点も評価できます。



香川県香川大学教育学部附属高松小学校

2年 岡崎 進志郎

学校の指定水着に関する意識調査で、その結果を丁寧にグラフに表現しており、興味深いです。指定と指定外で色を変えた円グラフでしたので、最後の「自分でえらべるならきたい水着」では、男子の指定外が多いことが一見して分かり易く表現されています。性別だけでなく、学年でも比較している点は面白いですね。なぜ指定水着を嫌がるかの理由も調べている点も良かったと思います。



佳作 第1部

◎佳作



岩手県一関市立中里小学校
2年 齋藤 怜



福島県矢吹町立中畑小学校
2年 高久歩紀



茨城県水戸市立梅が丘小学校
2年 稲田千晴・根岸一華



茨城県つくば市立学園の森義務教育学校
2年 栗林 悠

小学校1・2年生の児童

佳作 第1部

小学校1・2年生の児童



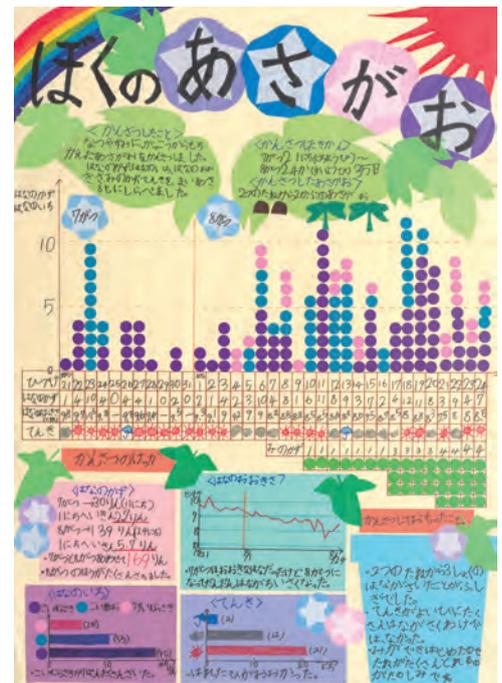
群馬県桐生市立南小学校
2年 宮崎 亮



東京都練馬区立豊玉東小学校
1年 代田 絢子



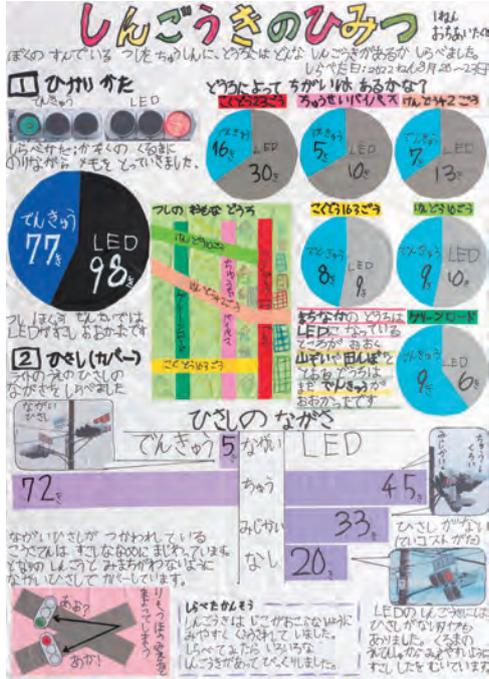
東京都北区立王子第一小学校
1年 平井 佑樹



神奈川県慶應義塾横浜初等部
1年 中川 俊太

佳作 第1部

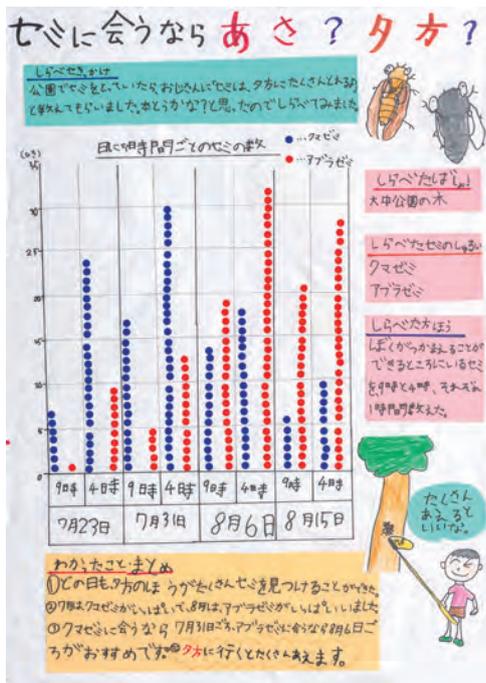
小学校1・2年生の児童



三重県津市立草生小学校
1年 落合 匠人



大阪府河内長野市立長野小学校
2年 杉原 あおい



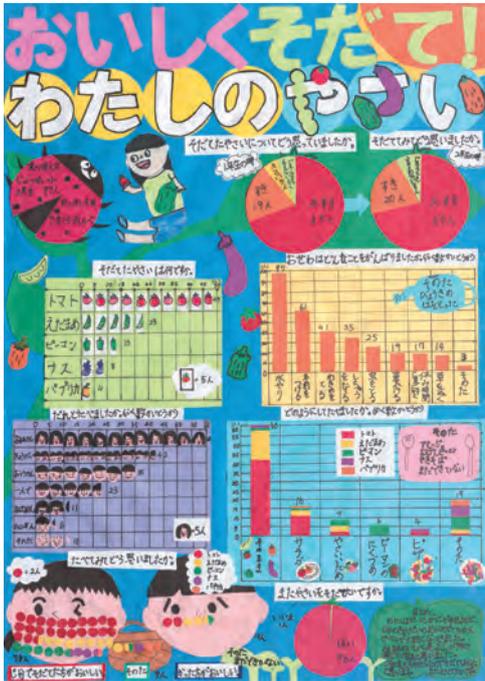
奈良県大和高田市立高田小学校
2年 富士枝 龍



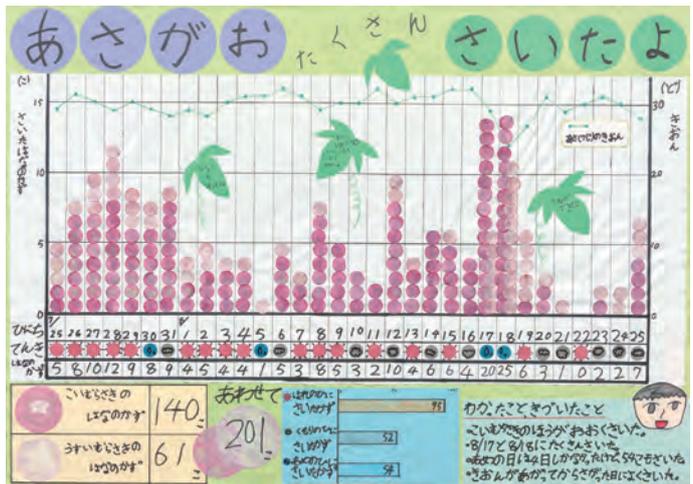
島根県浜田市立旭小学校
2年 岡本 悠里



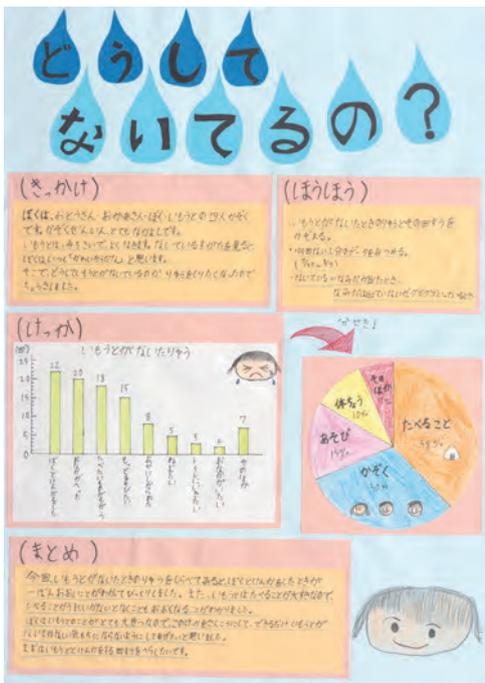
小学校1・2年生の児童



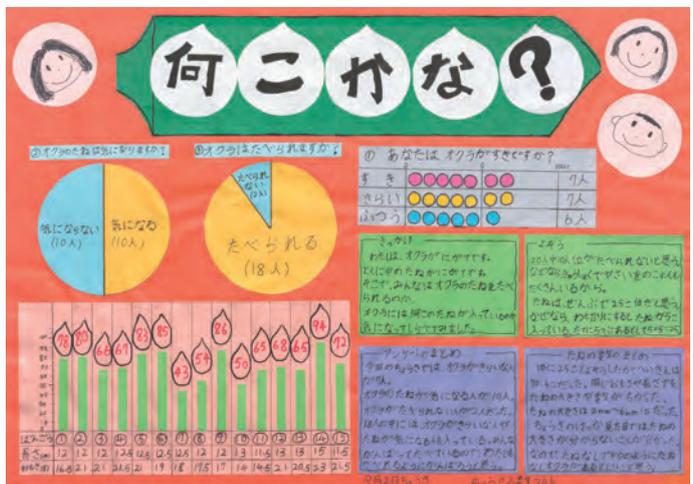
香川県丸亀市立城西小学校
2年 海老原 碧 結



愛媛県松山市立久枝小学校
1年 山内 陽 翔



福岡県福岡教育大学附属福岡小学校
1年 家元 武 蔵



沖縄県うるま市立兼原小学校
2年 荻堂 禾 夏

第 2 部

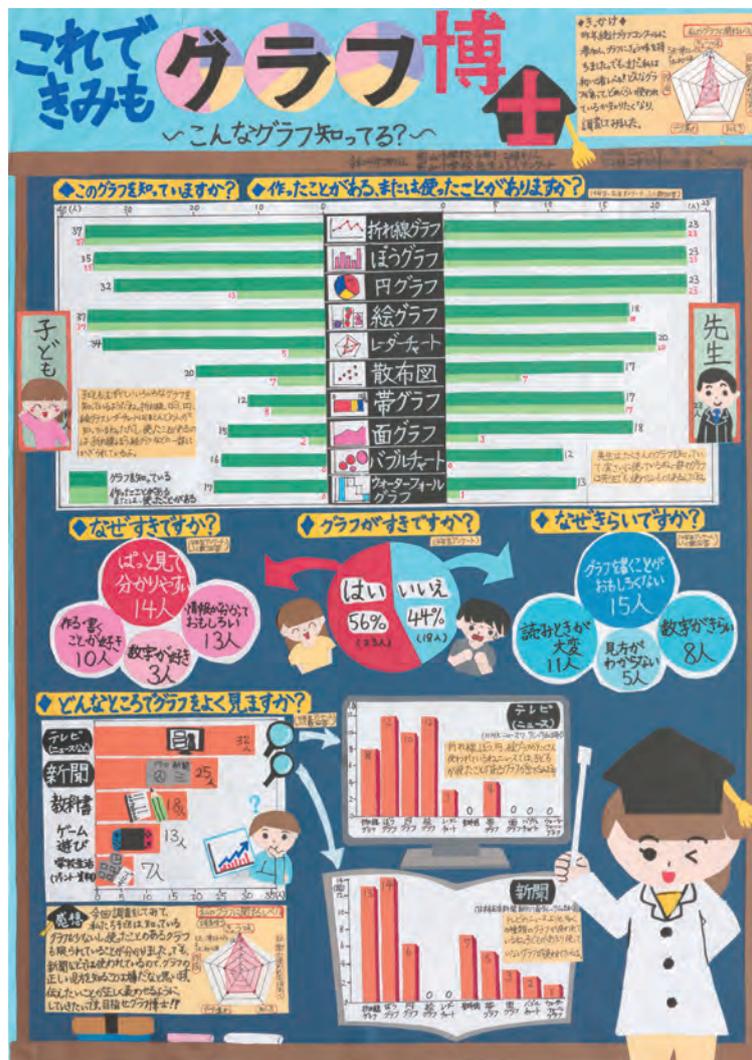
(小学校3・4年生の児童)

— 概 要 —

第二部の3・4年生となると自分だけでなく、周りのお友達やご両親などの思いなどにも興味を持ち、社会の一員として、テーマの幅が広がっているのを感じます。惜しくも入選しなかった作品を見ても、地球を大切にすることやみんなの幸せに関する事など、いろいろと興味を持っているのを感じます。その調査の方法もいろいろありますが、実際に自分の足で現場に行き、調査することは大切で、収集したデータとにらめっこして、自分と異なる考えや予想と異なる結果に対して、検証できればさらに探究学習としてもより良い作品につながると感じます。多くの素晴らしい作品の中で、特選・総務大臣賞を受賞された作品は、テーマ選びから、統計グラフの適切な利用、比較や層別などの分析も高く評価でき、さらに多くの情報量もあり、メッセージ性も高く、群を抜いた作品と感じました。学校で学んだ棒グラフと円グラフを上手に使っています。特選の作品と比べると、もう少し統計グラフでの情報を加えて欲しいものや、調査のきっかけからデータ収集、分析、まとめという「主張したいこと」があるとさらに分かり易くなるものもあり、「惜しい」と思う作品も多くあります。色や文字、背景なども丁寧に作りこんでいる作品も多く、なにより、調べた際の何らかの気づきについても書かれており、ぜひこういう探究活動とその結果を他者に伝える適切な表現を積極的に続けて欲しいと思います。

入選 第2部

小学校3・4年生の児童



入選一席

愛知県豊田市立前山小学校
4年 水口 優莉子

統計グラフコンクールではこの作品のように統計グラフを対象とした作品がありますが、この作品は身の回りのお友達だけでなく、統計グラフをよく知っている先生にも調査し、それを背中合わせの棒グラフで分かり易く比較している点が興味深いです。さらに統計グラフの好き嫌いの理由なども知ることができ、有益でした。ぜひたくさんさんのグラフを知ってグラフ博士になりましょう。

入選 第2部

小学校3・4年生の児童

神奈川県横浜市立幸ヶ谷小学校 4年 榎本 梓乃

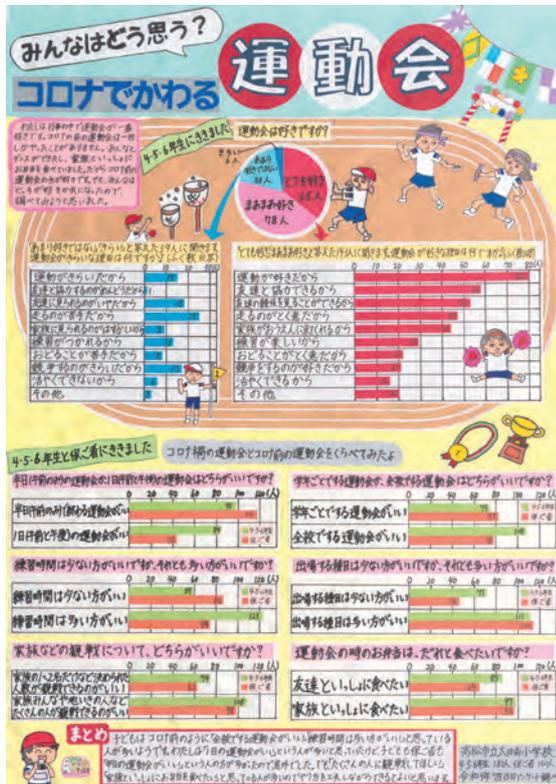
ポイ捨てをなくそうとするメッセージ性の高い作品です。捨てられているものの8割以上がたばこの吸い殻であることや、「同じ場所でごみを拾ったら、1回目よりも2回目のほうがゴミが減る」という事実も今回の調査で分かり、それを適切に統計グラフに表現しています。最後は統計グラフではありませんが、地図でごみの多い場所を明示することで、その傾向が見える点が興味深いです。



新潟県新発田市立住吉小学校 4年 本田 愛乃

この作品では、100か所の公園に実際に行き、そこで見知らぬ人が多い中、インタビューをしながら、データ収集を行い、それを丁寧にポスターにしている点はとても高く評価できます。調査は現場ですることが重要と言われますが、写真も含め、小さい子や大きい子で好きな遊具が違うなどの気づきもありますね。市役所の維持管理課の方へのインタビューでさらに検証している点も良かったです。





香川県高松市立太田南小学校
4年 林 葵理

運動場のイラストが大きくあり、テーマに合わせた分かり易いデザインと感じます。実際にコロナで運動会も大きく変わり、そのことにお友達や保護者の皆さんがどう感じているかを知ることができる機会となった有益な作品だと思います。まとめにも触れていますが、こうやって多くの人意見を調べてみると、自分と異なる意識を持っている人もいることを知ることができ、社会に触れる良い気づきになったと思います。



愛媛県西条市立西条小学校
4年 高木 陽向

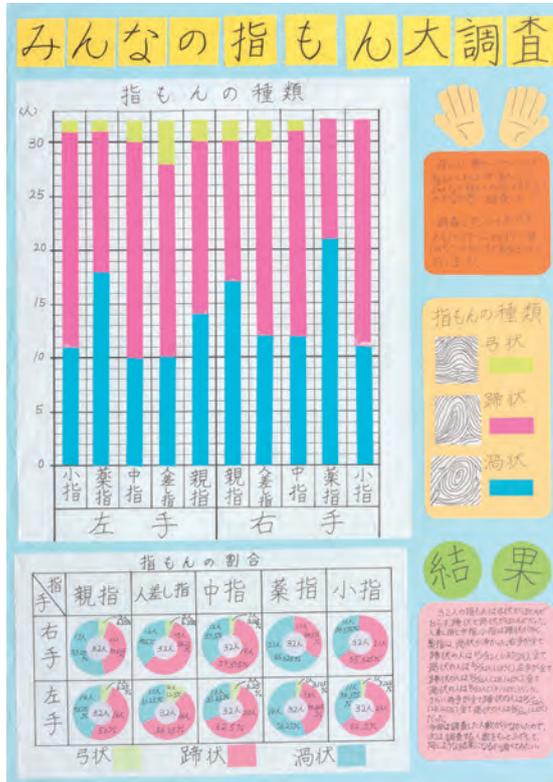
コロナになってマスク着用が普通になっていますが、そのことに関して、「マスクはずせますか？」というタイトルからも興味を引くものになっています。自分の意見が各質問でどこになっているかも示しており、決して多数派でないことに気づいた点も良かったと思います。社会を測る統計では、自分以外の人の状況を知ることができますので、今後もこういう活動を続けて欲しいと思います。

入選 第2部

小学校3・4年生の児童

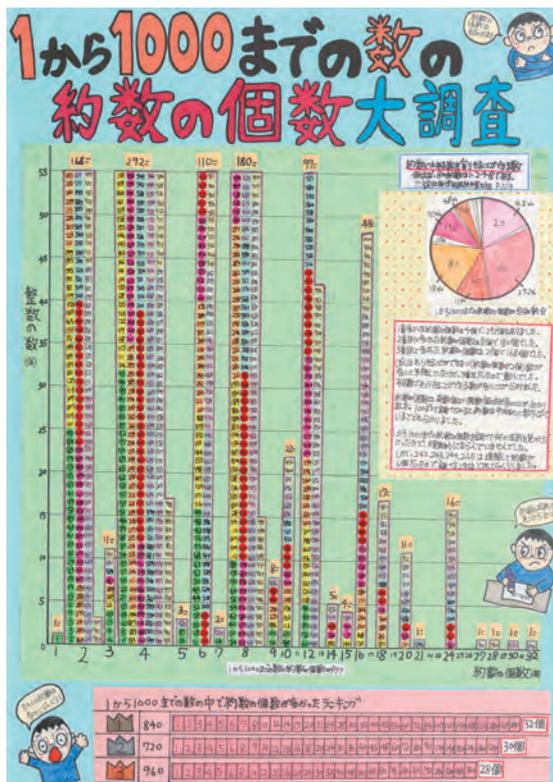
高知県学校法人高知学園高知小学校
4年 本田 桐彩

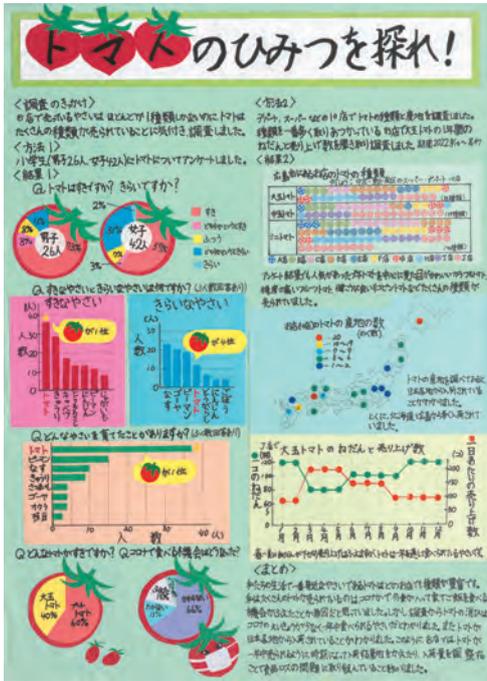
今回は32人への調査でしたが、1人両手で10個の測定であり、指紋というよく見ないと分からないものを丁寧に見ている点は大変だったと思います。まとめて「人数が少なかった」とありましたが、よく頑張っていると思います。もし人数を増やすことができるなら、性別、年齢別などを比較して、さらに何らかの傾向が見つかると思えます。



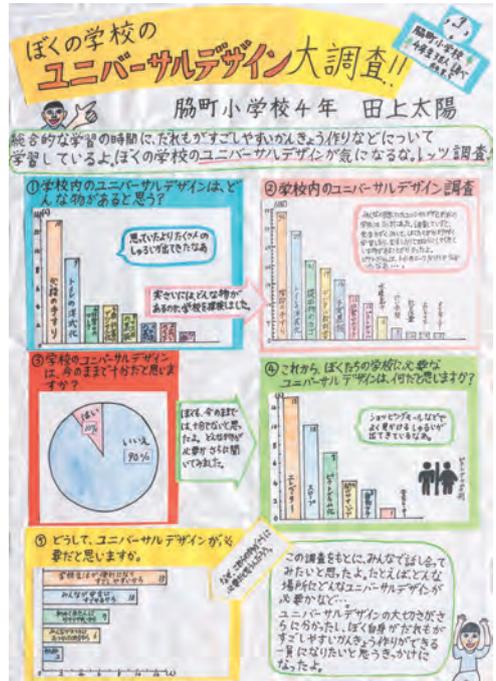
大分県大分市立春日町小学校
4年 月村 天洋

最初にこの作品を見たときに、着眼点のユニークさ、また一つ一つ調べたという大変さに「すごい」と感じました。また、作品にも書かれているように、規則性を探してみたりするなど、興味探究に進んでいる点も良かったと思います。実際に傾向を探るためか、各数字の色分けをしているなど、丁寧な作品作りをしていると感じます。これからも気になることはいろいろと調べてみましょう。





広島県学校法人安田学園安田小学校
 3年 大原 陽茉莉



徳島県美馬市立脇野小学校
 4年 田上 太陽

小学校3・4年生の児童



香川県東かがわ市立大内小学校
 4年 白 渦 咲 弥



佐賀県小城市立牛津小学校
 3年 岡田 愛 未

第 3 部

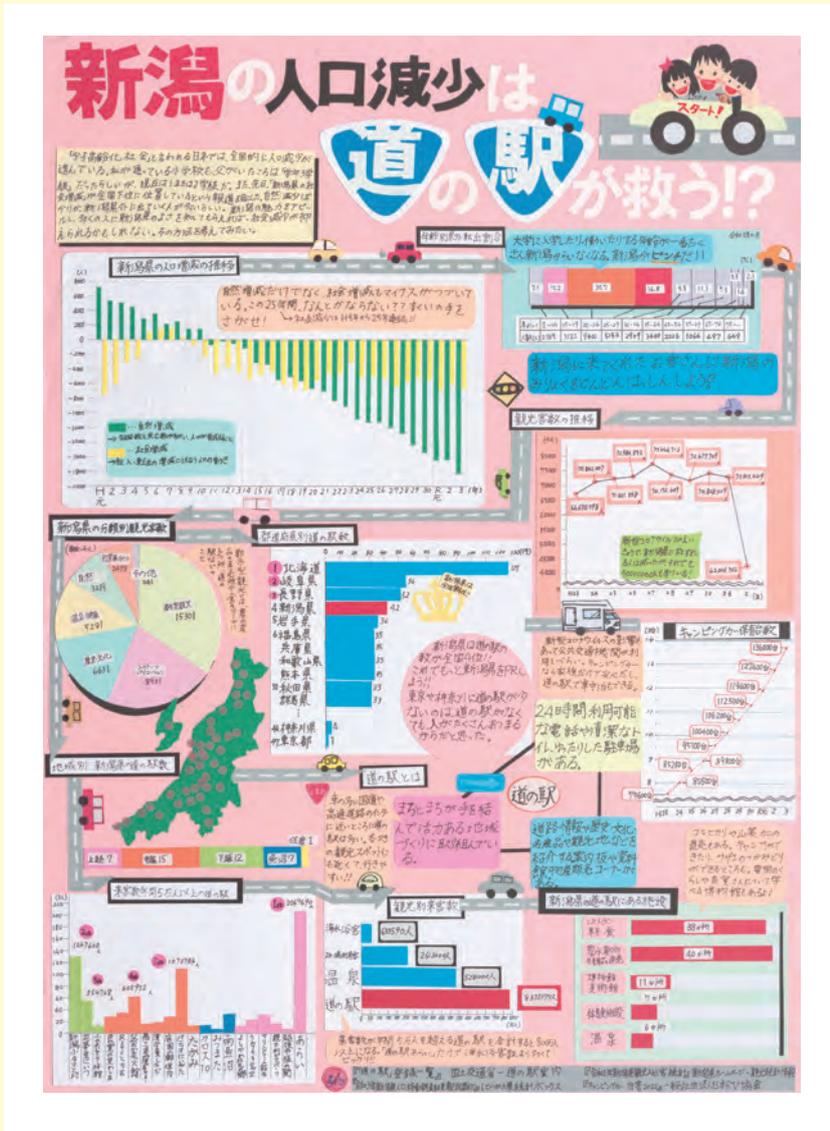
(小学校5・6年生の児童)

— 概 要 —

小学5・6年生になると、テーマも身近な問題から社会問題に関するものが増え、成長を感じます。今年も特選の人口減少問題を始め、ごみ問題や健康問題など、興味深いテーマが多くありました。中でも入選作品の適塩てきえんに関する作品や後方発進の危険性を伝える作品、公衆電話の重要性を紹介している作品などは、現状の問題に触れふ、今後の対策なども紹介しており、統計を使った問題提起をする作品としても素晴らしいと思います。全体的にポスター内の有益な情報も多く、多い情報をどう分かり易く伝えられるかの工夫をしている作品が受賞につながっていると感じます。いくつかの受賞作品では、長い期間の調査や測定基準を定義し、調べ方を工夫している作品も見られ、中学生になってもこのような大変な作業、丁寧な作業を継続けいぞくして欲しいと思います。また、動機、データ集め、分析、まとめがあると、どういうシナリオで今回の作品を作ったかが分かり易く、最終的に何が言いたかったも伝わりやすいと思いますが、それらがないと、こういうことを言いたかったのかなと見る側が推測することになり、見る人によって作品の良さが変わってしまうのはもったいないように思います。これらは探究学習などで習得できると思いますので、ぜひ問題発見から、データ収集・分析、そして他者へ伝えるための表現などを体験し、次回につなげて欲しいと思います。

特選

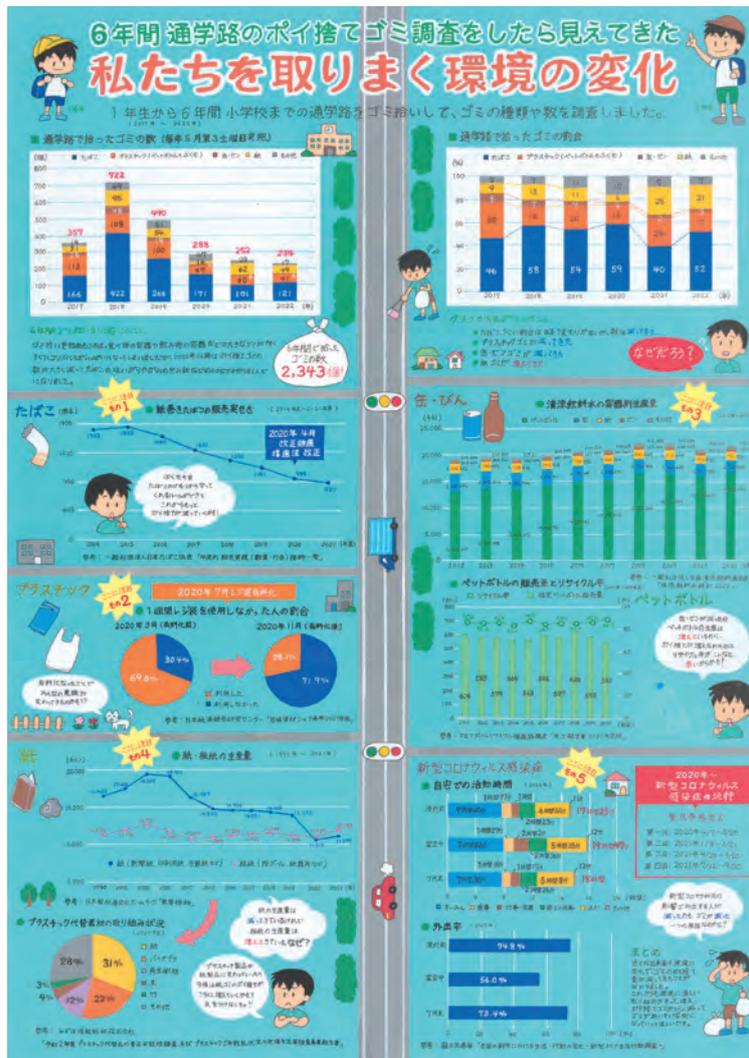
日本品質管理学会賞



新潟県田上町立羽生田小学校
6年 畠山 紗 来

少子化の傾向は地方に行くほど強く、その対策は難しいところですが、この作品では、その現状を前半でしっかりとデータで把握し、危機感を感じ、後半ではその解決策として「道の駅」の活用を意識した作品になっています。全体的にピンクを基調とした背景で、道の駅に相応しく車と道路のイラストが全体的に描かれています。全体のバランスも良く、データで語る素晴らしい作品です。

小学校5・6年生の児童



入選一席

長野県岡谷市立神明小学校
 6年 信澤卓実

6年間のごみ調査の実績であり、その活動も素晴らしいですが、その結果をデータとしてポスターに表現し、検証している点はすごいと感じました。特に、「注目」ポイントをそれぞれに示し、そのデータの変化の背景にあるものを紹介し、それぞれで感じた疑問に一つの推測を説明している点も興味深いです。テーマ的にも、今後の社会の活動につながって欲しいメッセージを感じる作品です。

◎入選



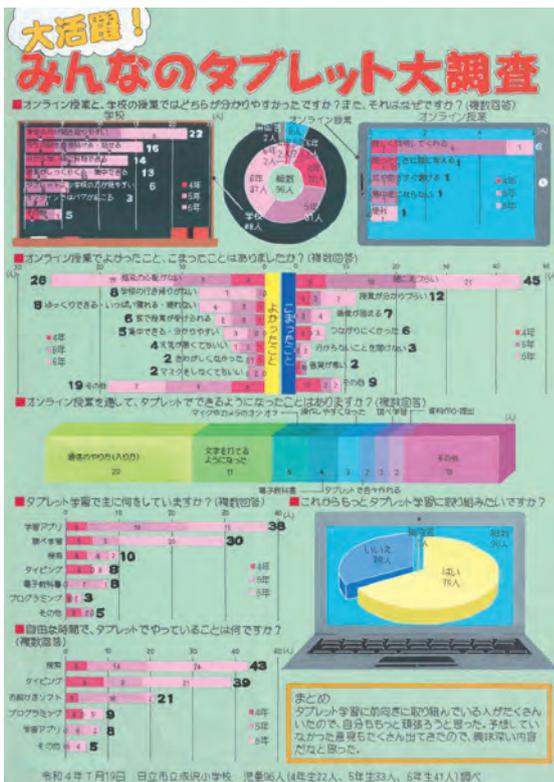
岩手県盛岡市立城北小学校

6年 折居潤希

4年 折居沙綾

健康を維持するために適塩は大切です。そのことをさまざまな視点で紹介している素晴らしい作品です。特に、最後の「あなたの適塩何g?」という問いかけは、ポスターで知った実態を踏まえ、見ている人に強烈なアピールになったと思います。単に食品に含まれる塩分だけでなく、毎日の給食の塩分や適塩のコツを調べてあり、さらにそれを実践した際の成功例まで紹介しているのは素晴らしいです。

小学校5・6年生の児童



茨城県日立市立成沢小学校

5年 山本紗葵

コロナ感染拡大防止のために、学校の先生方もオンライン授業の導入を目指し、さまざまな工夫をしてきました。今回の調査結果にあるような困った点はどうしても出てしまうとは思いますが、今回の調査で皆さんの意見が見えたことは先生にとっても有益だったと思います。オンライン授業への賛成派・反対派の意見の比較などもあるとさらに良かったかもしれません。

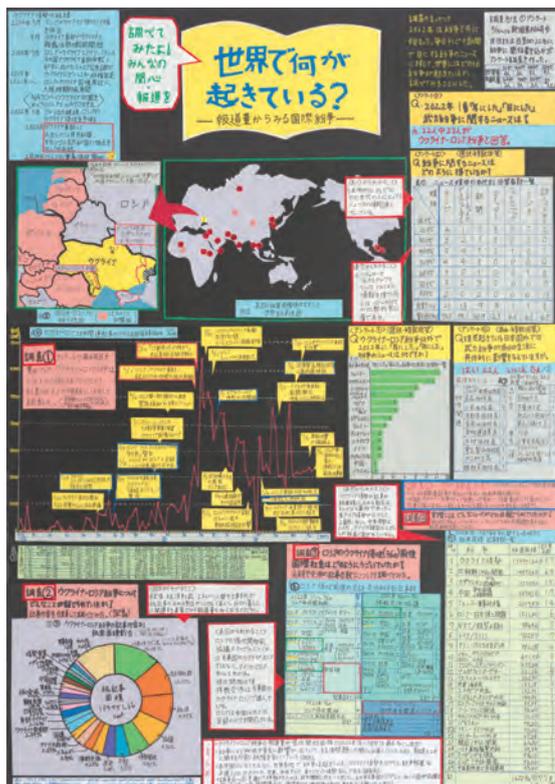
埼玉県三郷市立吹上小学校
5年 山本 萌

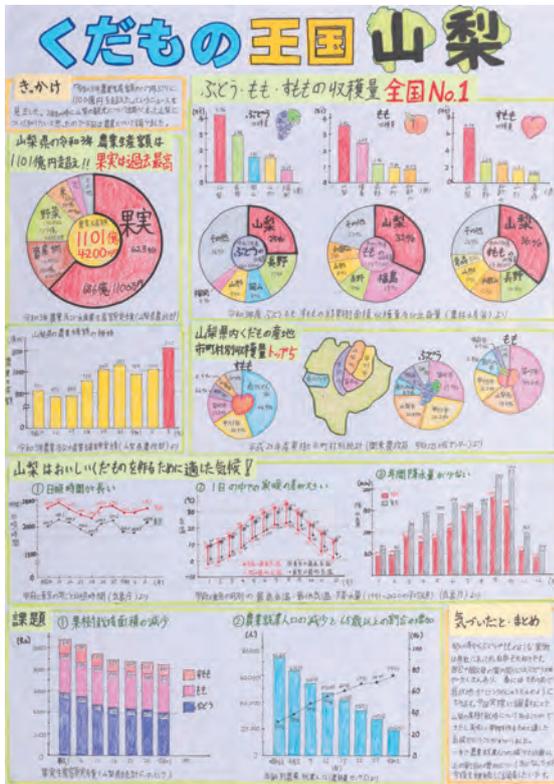
伝統的工芸品の生産額や従業者数の減少を含め、その対策を検討している作品です。全国での指定品目数を分かり易く表現して良かったと思います。特に、伝統的工芸品を買わなかった理由を年代別に比較している点は、対策を検討し易いものと思います。ぱっとみてデザイン性が高い点も評価できます。ちなみに都道府県別でも何か気づきが書かれているとさらに良かったと思います。



新潟県新潟大学附属長岡小学校
6年 田村 昂大

今回の紛争は皆さんも気になることと思いますが、アンケートで回答者の傾向を検証したり、新聞で取り上げられている記事の内容や本数、面積など、独自の測定法でデータ化している点は高く評価できます。調査結果だけでなく、背景や追加情報も含めており、情報も多く素晴らしい作品です。自分の生活への影響のところにもありますが、他人事になっていないことの紹介も良かったと思います。





山梨県山梨学院小学校
5年 石坂優衣

果物大国の山梨の実態を、丁寧に色を上手に使って比較をしながら紹介しています。その要因にもなる気候についても触れ、おいしい果物を作るのに最適な風土であることも紹介しています。最後には、果樹栽培面積や農業就業人口の減少、また、65歳以上の割合が増えているという現在の問題点にも触れています。果物大国を守るためにも、このような問題を解決していきたいですね。

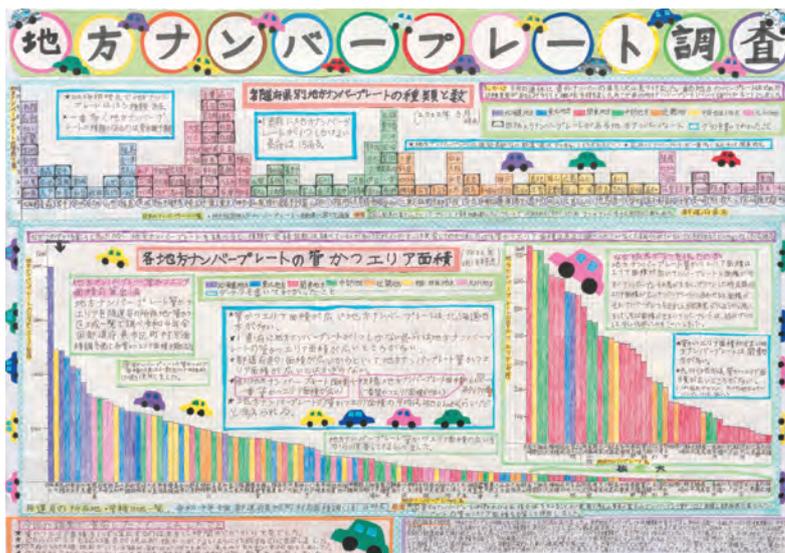


山梨県山梨学院小学校
5年 大田あかり

事故の話を知り、朝昼夜と大変な調査だったと思いますが、いろいろと検証している点が素晴らしいです。前向き駐車をイラストで説明するなど、分かり易さも良かったです。調べた際の疑問を解決するために、駐車場の「大小」の定義を決めて調査、さらにインタビュー調査で原因を探るなど大変だったと思いますが、調査やデータから問題解決を目指す姿勢は今後も続けて欲しいと思います。

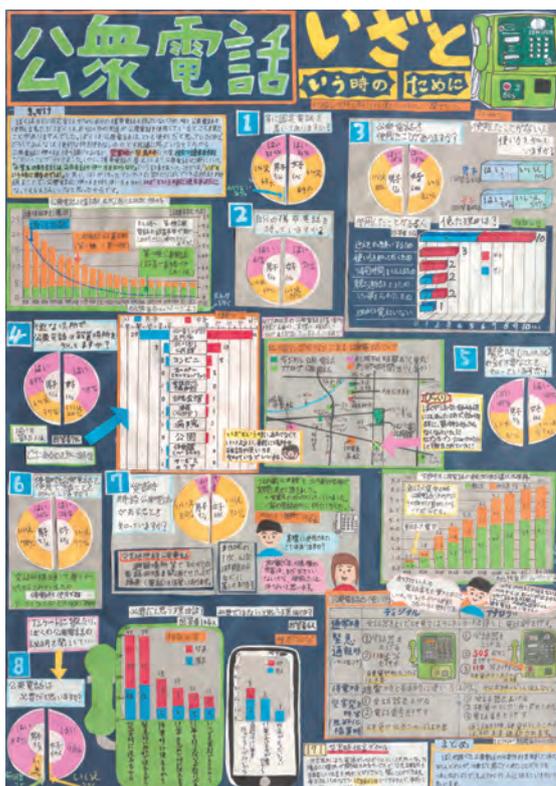
高知県南国市立大篠小学校
5年 藤田 朗 楽

これまでナンバープレートの作品はありましたが、ここまで手のこんだ作品はないように思います。全国のナンバープレートの種類と数が丁寧に調べられており、苦労・工夫したことも書かれているように、所在地・管轄区域一覧はそのままだと分かりにくいところを色分けをして、さらに小さい方の見づらいところは拡大するなど、随所に統計グラフに対する工夫があり、素晴らしいと思います。



佐賀県佐賀市立北川副小学校
6年 中 溝 蓮 月

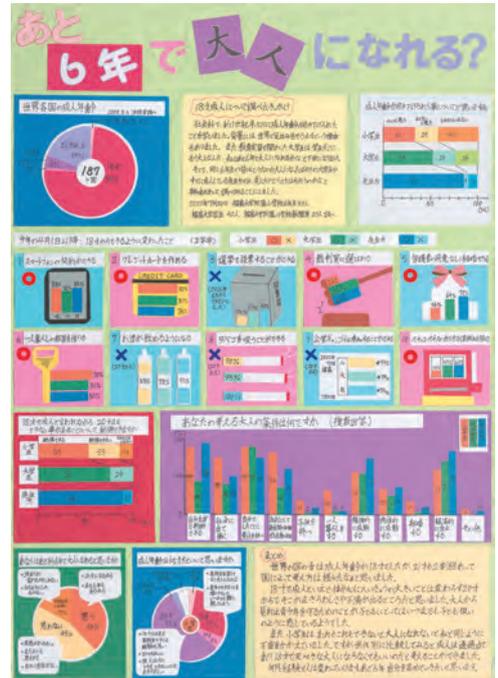
最近はいびが少なくなった公衆電話の重要さが十分に伝わる作品です。分かり易い調査のきっかけも書かれてあり、複数の視点でお友達に調査し、現在の公衆電話に対する経験や意識を把握し、その危険性を表現しています。また、地域の公衆電話のマップや公衆電話の使い方の紹介もあり、問題の指摘からその対策まで、丁寧にイラストを使いながら紹介している点は素晴らしいと思います。



◎佳作

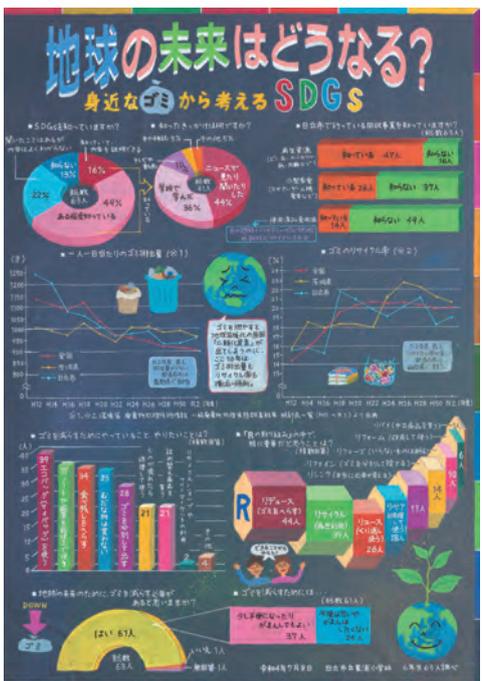


北海道釧路市立釧路小学校
6年 本間 明音

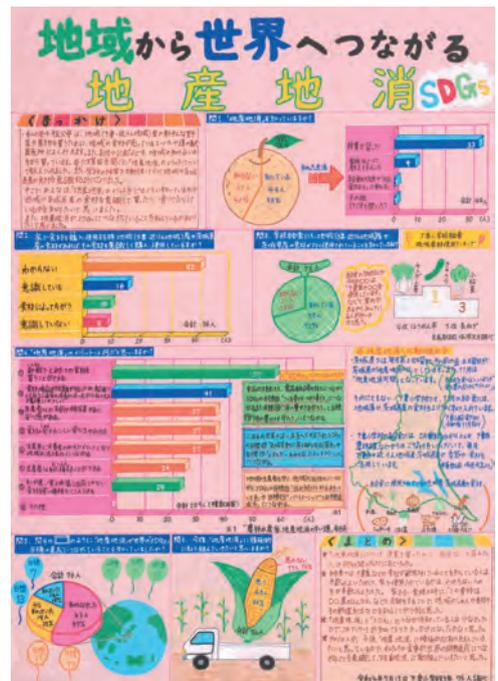


福島県福島大学附属小学校
6年 松崎 志歩

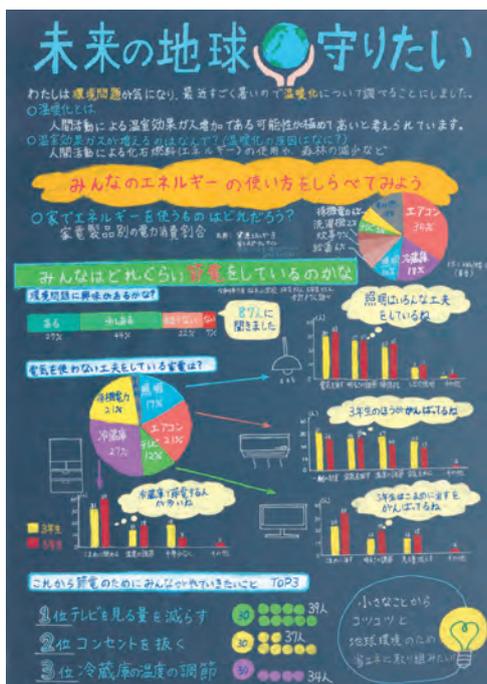
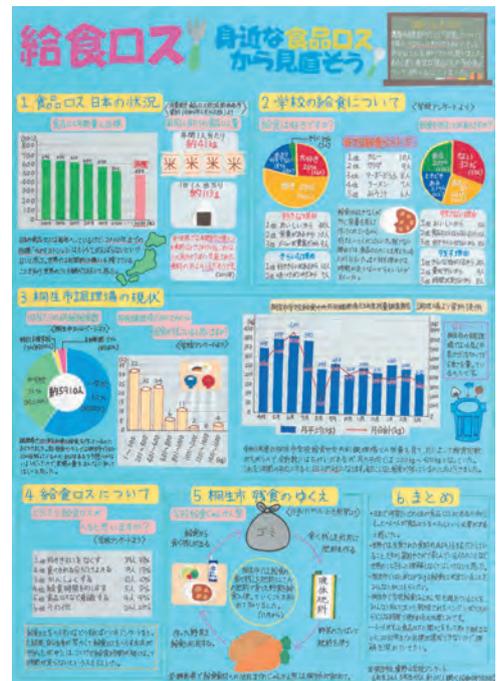
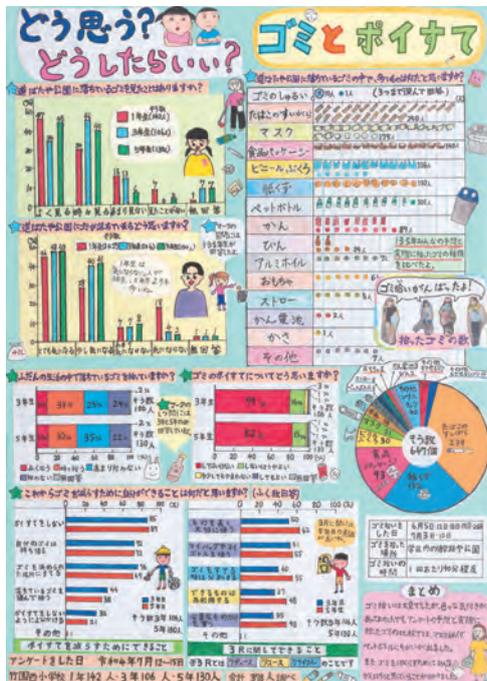
小学校5・6年生の児童

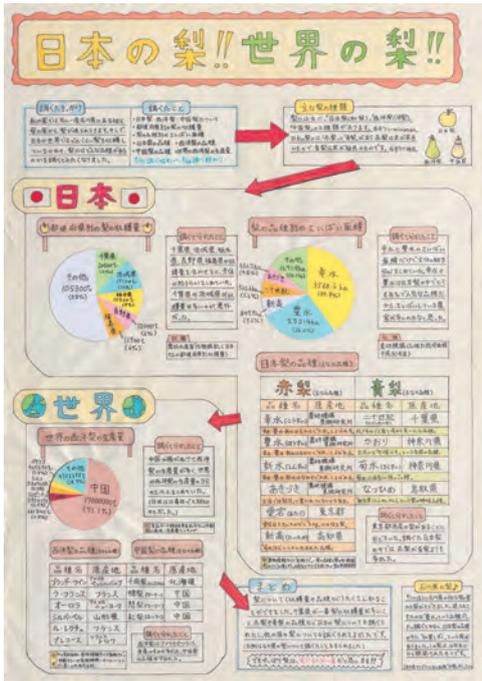


茨城県日立市立豊浦小学校
6年 森嶋 明日香



茨城県下妻市立下妻小学校
5年 沼尻 真美加



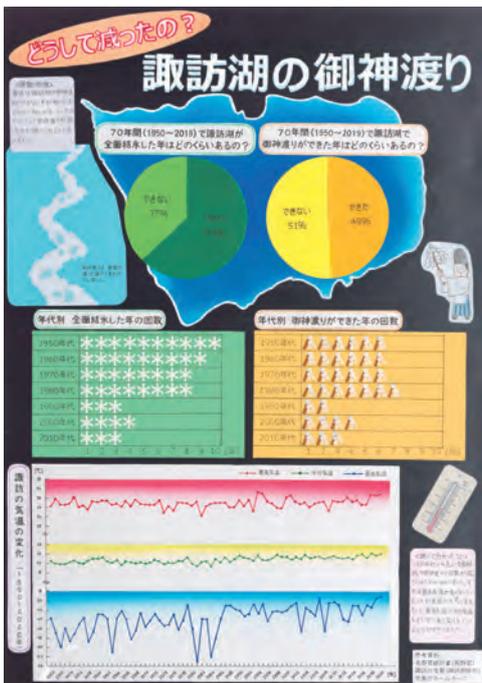


東京都荒川区立瑞光小学校
6年 戸田 和

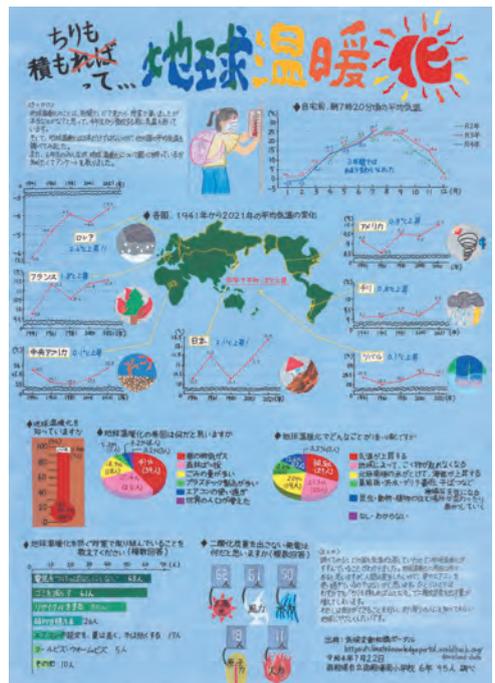


富山県富山市立豊田小学校
5年 関口 眞佳

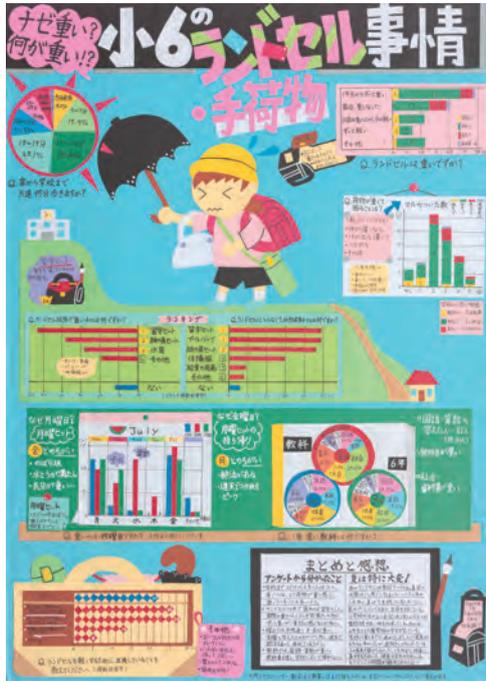
小学校5・6年生の児童



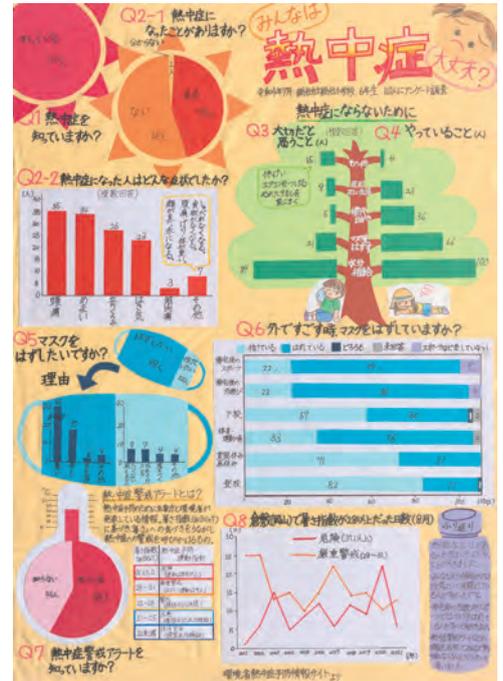
長野県茅野市立永明小学校
6年 大島 海織



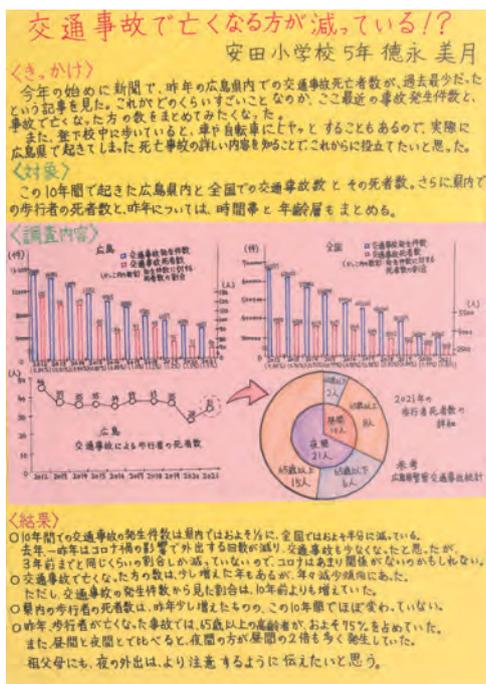
静岡県御殿場市立御殿場南小学校
6年 谷口 瑞季



愛知県岡崎市立三島小学校
6年 野田 紗恵理



岡山県総社市立総社小学校
6年 尾島 花梨



広島県学校法人安田学園安田小学校
5年 徳永 美月



広島県学校法人鶴学園なぎさ公園小学校
6年 井川 友・竹田 早希

奨励賞 第3部

◎奨励賞



小学校5・6年生の児童

石川県羽咋市立西北台小学校
5年 宮本 桜空

第 4 部

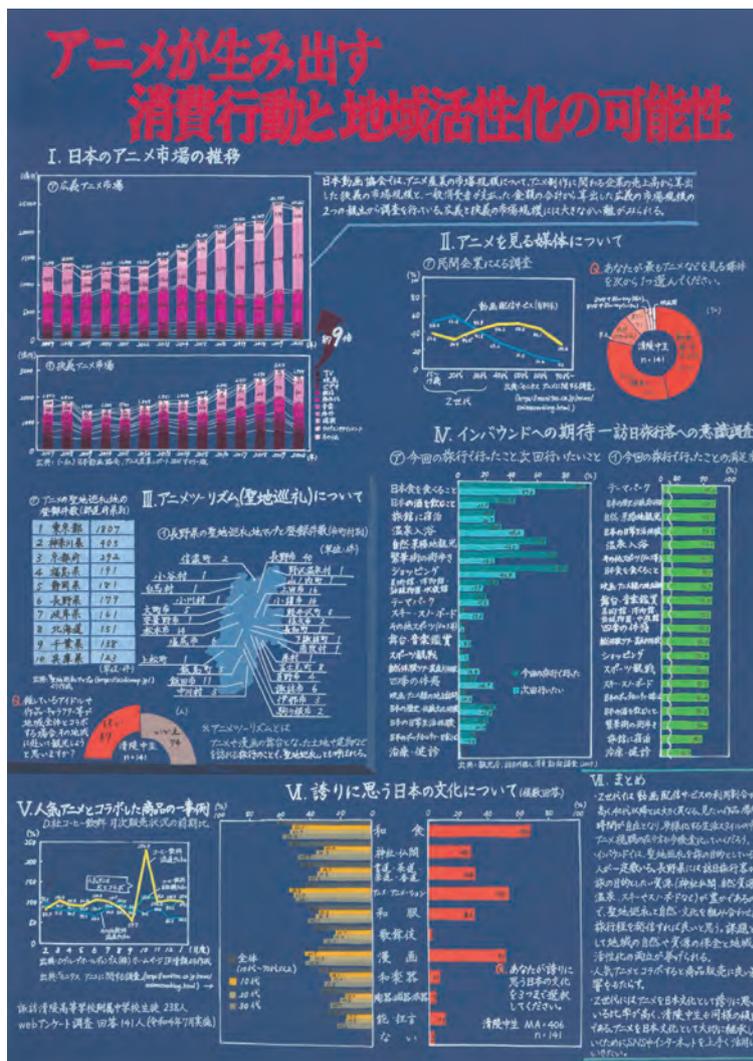
(中学校の生徒)

— 概 要 —

中学生になると、選択している課題やテーマの視野が広がってきます。自分たちの内面の問題から取り巻く社会や経済、環境など、幅広いテーマへの深い関心が作品に表れていて、主張や意見がしっかりしたものに仕上がっています。特に、分析した結果を踏まえて、提言を行っている作品も多く、頼もしい限りです。グラフ技術も情報を可視化するという「情報デザイン」の観点からみても、目的をもった配色ができています。このコンクールでは、身近な問題を統計グラフを使って明らかにし、そこを出発点に、自分なりに問題を解決する糸口をやはり統計を使って考えていく、それを皆に分かり易くグラフで伝える、そのような統計的なものの見方、問題解決力を評価しています。中学校の授業には、小学校に引き続き「データの活用」領域があります。そこで学習した、統計の基本も今後の作品作りに活かしてください。これからデータの世界は益々広がってきますので、皆さんがコンクールを通して磨き上げたデータ活用の技術と思考力は高校、大学、社会で必ず役に立ちます。これからも、皆さんの素晴らしい作品を期待しています。

特選

日本統計学会会長賞

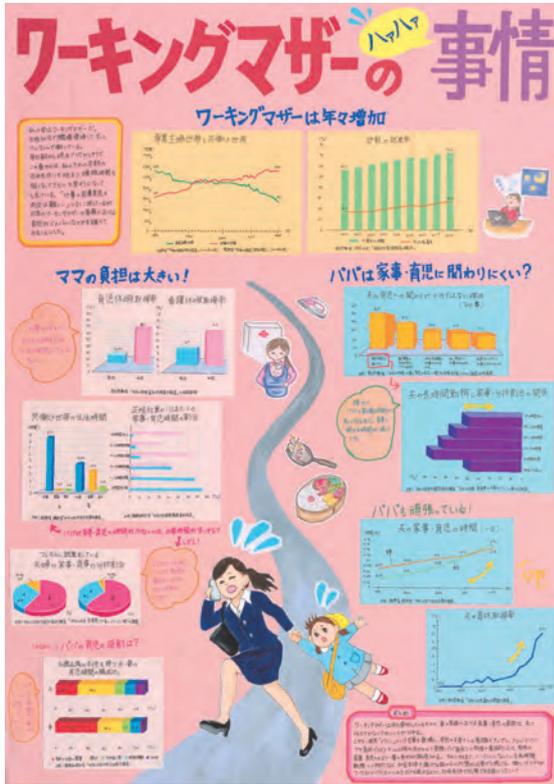


長野県長野県諏訪清陵高等学校附属中学校
3年 小濱 梓 咲

Z世代に関心の高いアニメ。世代を代表する中学生の作者、小濱さんは、アニメの市場規模と経済効果が過小評価されている実態をまず、統計を使って示しました。その上で、インバウンド、聖地巡礼、キャラクター商品の効果など、若者世代の消費行動を動かす、具体的な施策の根拠を統計数値とグラフで配置しています。Z世代のEBPMともいえる優れた作品です。日本統計学会会長賞受賞、おめでとうございます。

中学校の生徒

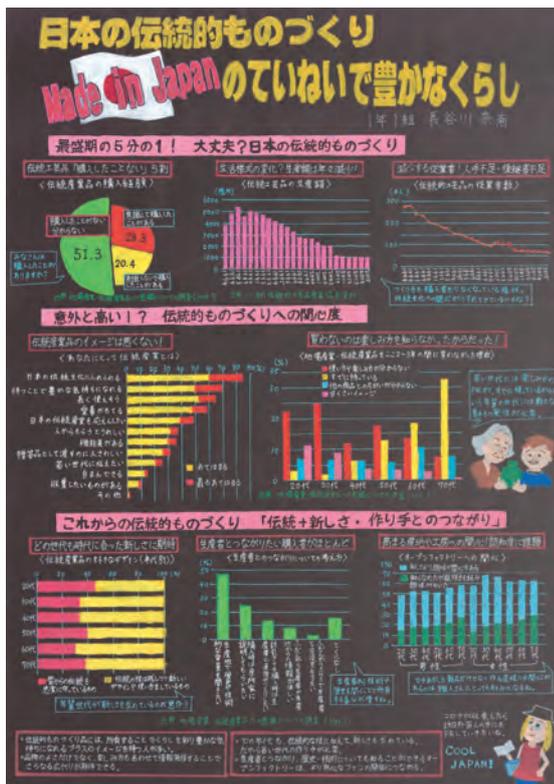
◎入選



神奈川県慶應義塾湘南藤沢中等部
1年 野畑璃桜

作者自身の母親の家庭での様子から、ワーキングマザーの問題、政府の対策と実際の効果、ワークライフバランスに至る社会全体の問題の現在の状況を、様々な統計資料を基にグラフで効果的に示しました。作品中央のイラストと統計グラフに何を語らせていくのかの流れがよく考えられています。入選にふさわしい優れた作品です。

中学校の生徒



富山県射水市立小杉南中学校
1年 長谷川 奈南

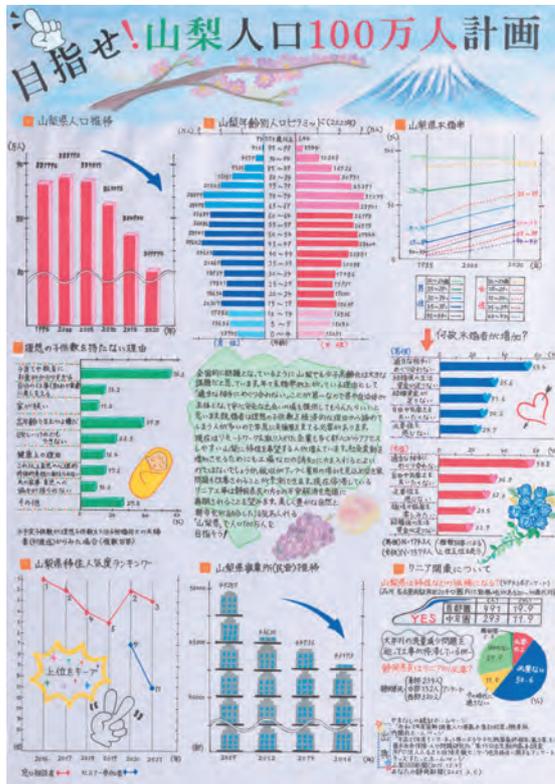
作品中の多くの統計グラフの一つ一つが非常に配色良くはっきりと分かり易く作られており、グラフが何を伝えているのか、見る人が一目で理解できます。3つのセッションタイトルもメッセージが端的で訴求力があり、作者が捉えた作品のテーマをよく表しています。全体が一つの良く出来たプレゼンテーションのようにまとまっていて、とても感心しました。

入選 第4部

中学校の生徒

山梨県山梨学院中学校 2年 高野 純 伶

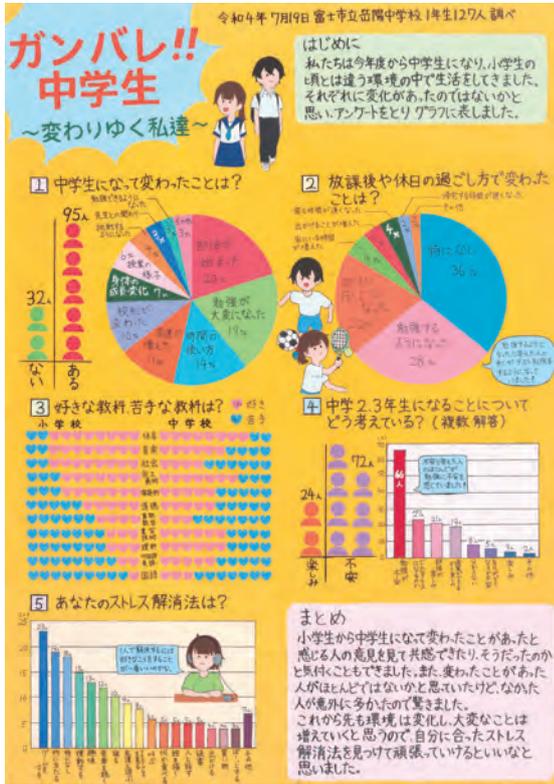
どの地域も抱えている人口減少、少子高齢化の問題を、山梨県統計資料に基づいて状況や解決のヒントをととても適切よくまとめています。中央に書かれた政策提言の根拠を統計資料とグラフで示しており、客観的データ（証拠）に基づく主張の展開が見事な作品です。中学生の率直な提案に大人も耳を傾けなければなりません。



岐阜県大垣市立興文中学校 2年 川瀬 麻 菜

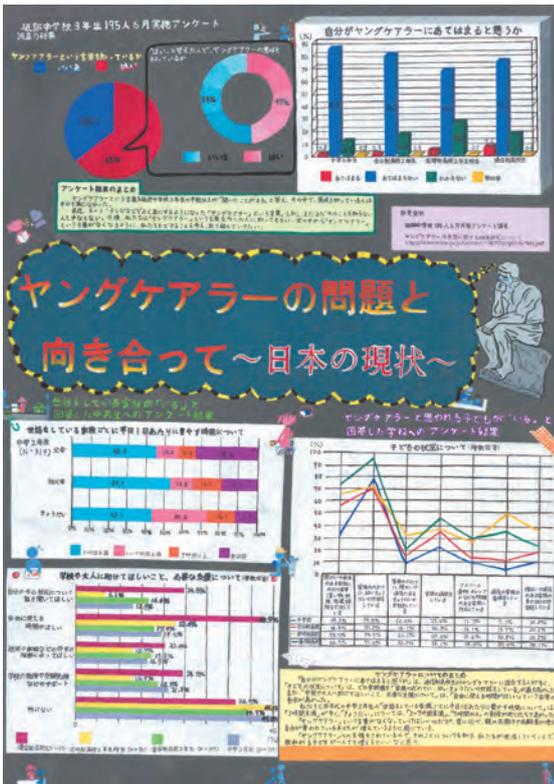
当事者の子どもにとって大きな問題であるヤングケアラーを取り上げ、学校での独自調査を計画し、その結果を丁寧に集計、グラフに可視化しました。調査項目の設計がきちんとできているため、単純集計でもグラフを通して何を作者が訴えたいのかがよく分かる構成になっています。問題を他人ゴト化しない、頼もしい世代に期待します。入選に値する素晴らしい作品です。





静岡県富士市立岳陽中学校
1年 永田帆乃

中学生になってだれもが感じる不安。みんなはどう思ってどう行動しているのか、調査をすることでその状況を知ることができ、客観的に考えることができます。率直に知りたいことを問い、きちんと集計して、結果を解釈し、状況への考察を深める。探究学習の基本がしっくりできている作品です。棒グラフのグラデーションも目を惹きます。

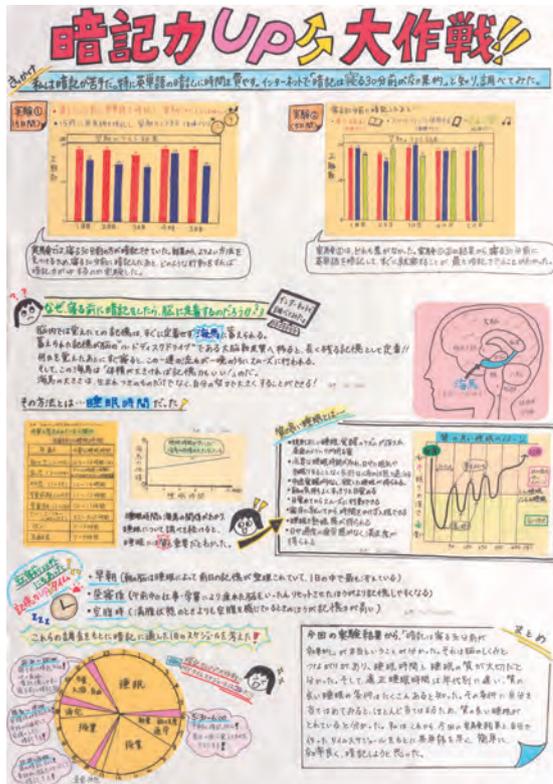


愛媛県砥部町立砥部中学校
3年 河端希香・高須賀柚奈
山本莉奈

独自調査と公表されている統計資料の双方を適切に使用して、ヤングケアラーに関しての状況の深刻さと実態を校種や形態などの学校の属性に分けて比較しています。比較の観点から深掘っていく作者のデータ分析のスキルの高さ、その違いを効果的に表すグラフの作成技法の高さが目を惹く作品です。

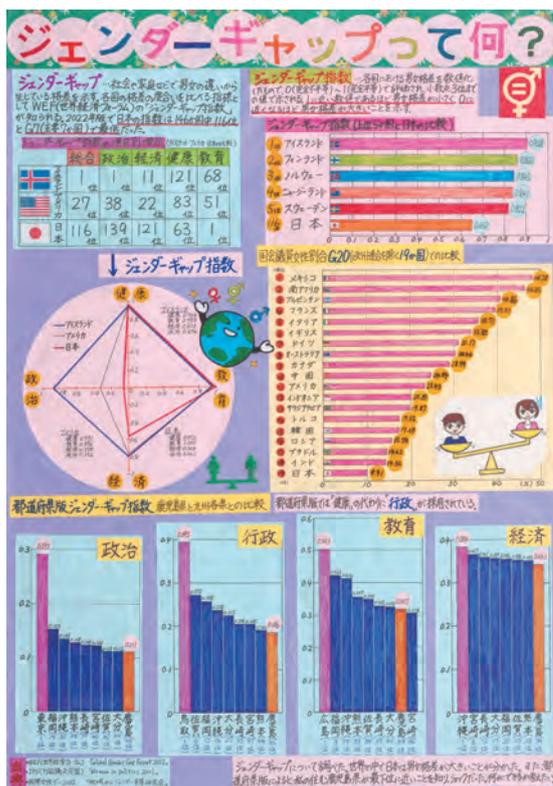
福岡県福岡県立嘉穂高等学校附属中学校
2年 渡辺 美月

実際に実験をして、暗記のための最適な条件を探索する作者の行動力を評価します。実験からデータを生成し整理するためには、実験を計画することが重要です。そのため何を導きたいのかの仮説設定がキーとなりますが、作者はこの科学の基本姿勢の第一歩にチャレンジしています。次は、実験結果の再現性や結論の一般化のために、どのようなデータが必要か考えてみてください。



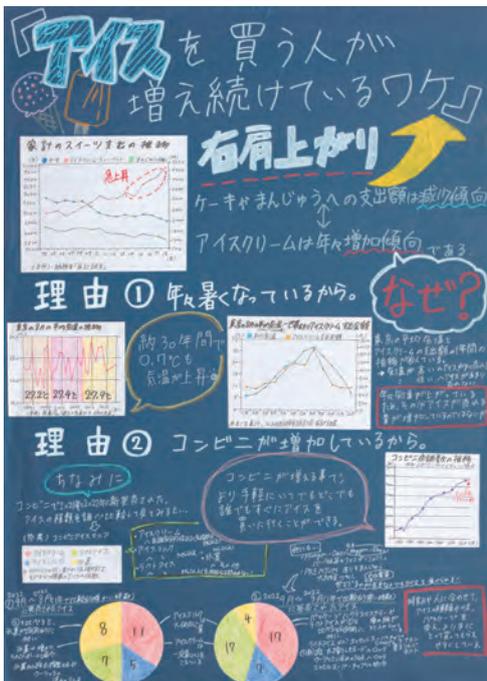
鹿児島県鹿児島大学教育学部附属中学校
1年 兒玉 怜依

作者がテーマに選択したジェンダーギャップは、日本の大きな課題です。国際統計資料から、各国に比較して日本の状態が如何に深刻かを示し、国内では県別統計資料から、その地域格差の実態を示しました。国別と県別指標を並べたことで、格差の観点から作者が主張を展開しているということがとても分かり易く伝わる作品に仕上がっています。

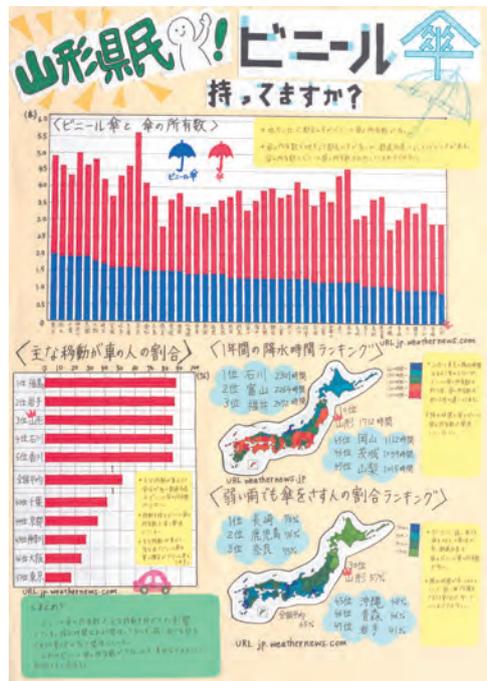


佳作 第4部

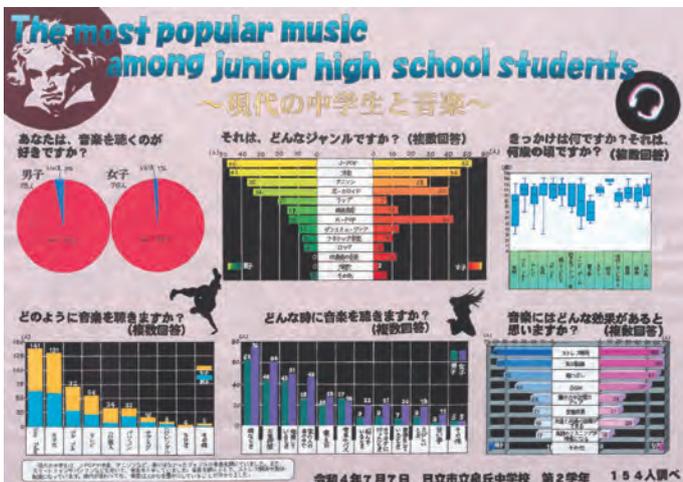
◎佳作



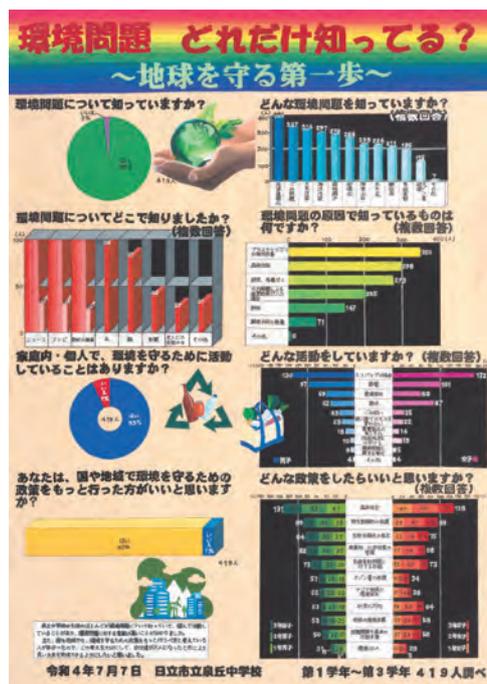
北海道北海道教育大学附属札幌中学校
2年 森田 愛子



山形県山形県立東桜学館中学校
3年 武田 菜奈



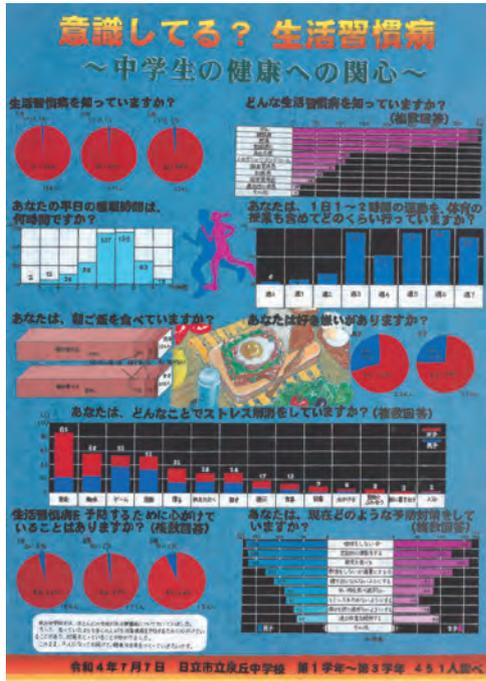
茨城県日立市立泉丘中学校
2年 上野 夏実・菅野 絢音



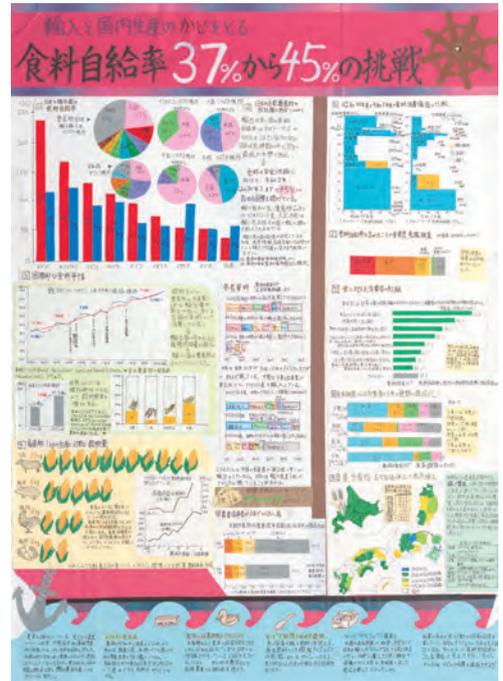
茨城県日立市立泉丘中学校
2年 伊勢田 里佳

佳作 第4部

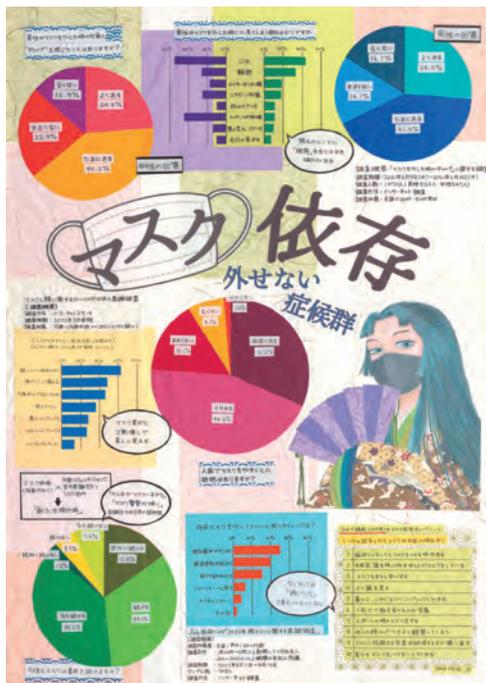
中学校の生徒



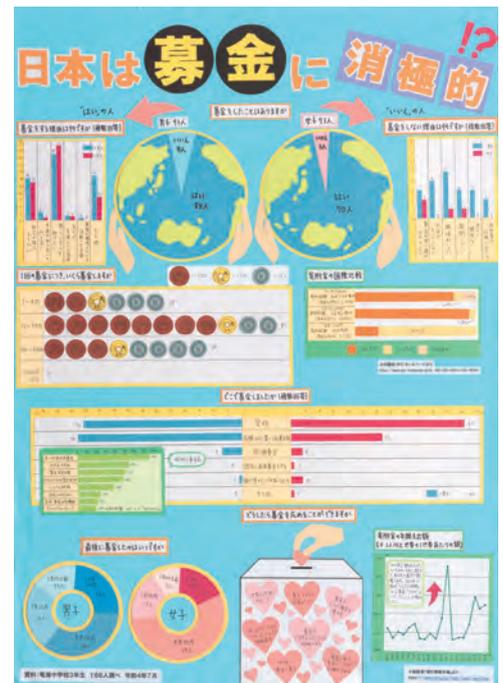
茨城県日立市立泉丘中学校
2年 黒沢美友・柳橋幸果



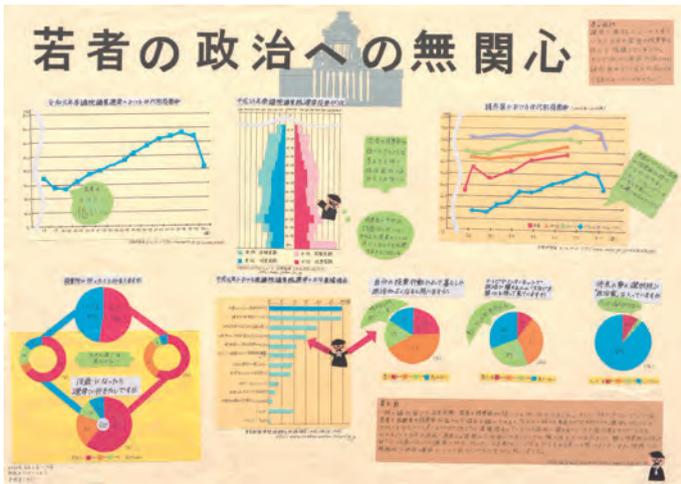
埼玉県埼玉大学教育学部附属中学校
1年 竹内美咲



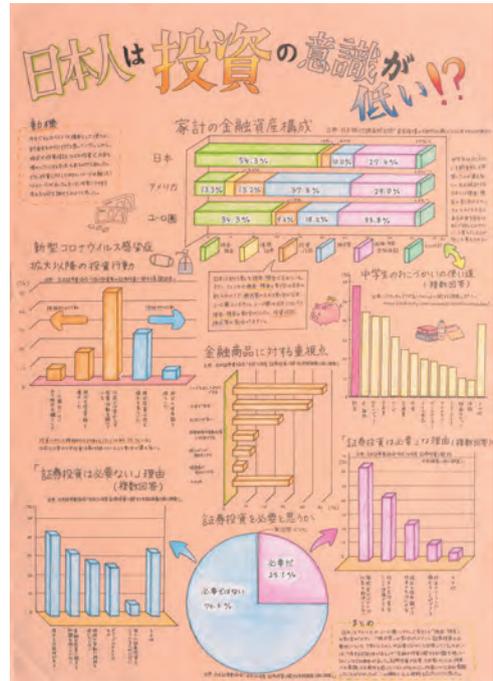
東京都桜美林中学校
2年 松林歩実



愛知県岡崎市立竜海中学校
3年 荒川琴音



滋賀県滋賀県立守山中学校
2年 古 樋 理 紗

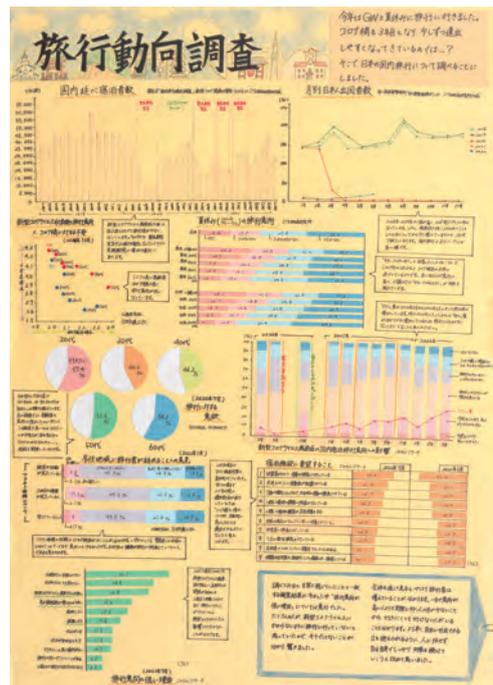


兵庫県神戸市立本多間中学校
2年 西 智 穂

中学校の生徒



兵庫県啓明学院中学校
2年 倉 田 菜 帆 ・ 河 野 冴 香
小 西 悠 月



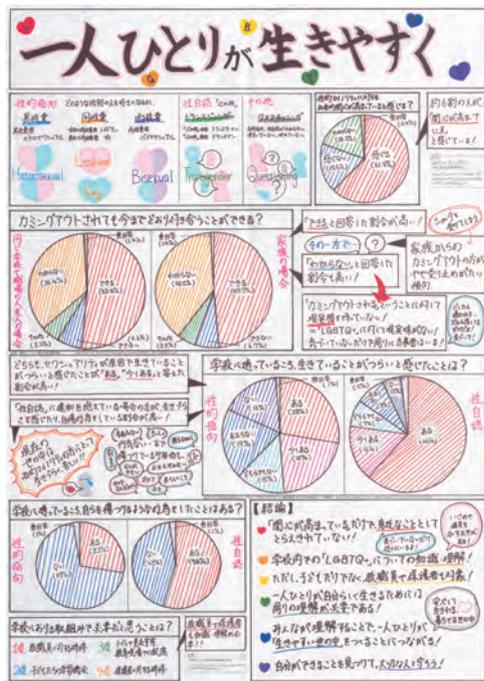
兵庫県神戸大学附属中等教育学校
2年 田 先 杏 奈



奈良県王寺町立王寺南義務教育学校
8年 山田 将之



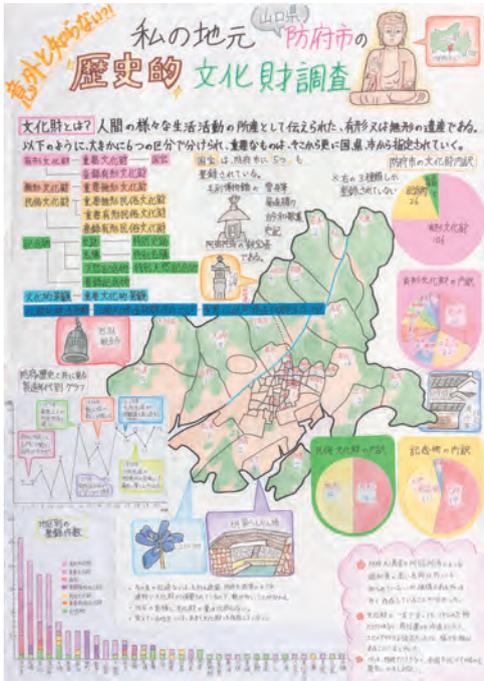
和歌山県和歌山県立向陽中学校
3年 岸本 彩乃



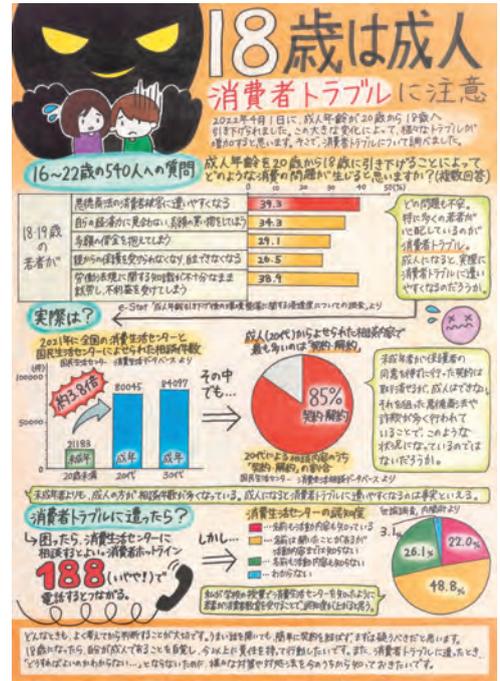
岡山県岡山県立岡山操山中学校
2年 松本 心美



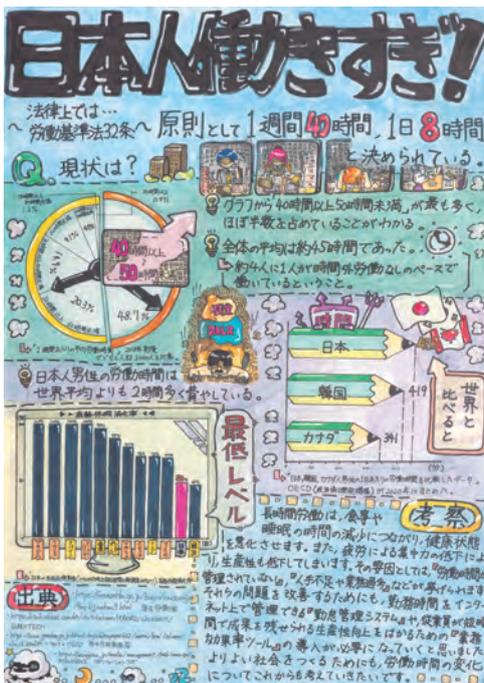
広島県広島大学附属東雲中学校
2年 伊東 琥子



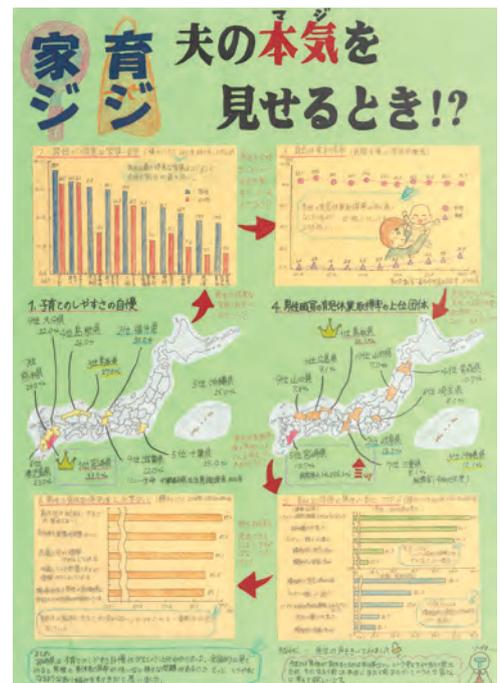
山口県防府市立国府中学校
1年 高田 紫 桜



徳島県徳島県立城ノ内中等教育学校
3年 浜田 紗 英



徳島県徳島県立城ノ内中等教育学校
3年 四 宮 奈 幸



宮崎県日南市立鵜戸中学校
3年 大 迫 美 友

中学校の生徒

奨励賞 第4部

◎奨励賞



中学生の生徒

秋田県大仙市立西仙北中学校
3年 鈴木 美穂
2年 田口 愛彩

第 5 部

(高等学校以上の生徒・学生及び一般)

— 概 要 —

第5部は、高校生から大学生、社会人まで幅広い年齢層の応募があり、環境問題、医療問題、人口問題、介護問題、国際紛争に至る社会問題が広くテーマとして扱われています。そこでは、テーマに即した色々な統計情報を集め、分析し、グラフ化し、ストーリーを構成し、自らの考察や提案にまとめていく、証拠に基づく探究の質とともに、見事なアートワークと情報デザインが展開されています。今年も色々なテーマについての作品に応募いただいたことを感謝します。どうやって問題の重要性を客観視し、それを伝えるのか、また、統計資料を詳細に見ることで分かる意外な真実、そこから広がる問題解決の可能性など、作品のストーリーを繋ぐロジックの妥当性や提言力も評価のポイントになっています。加えて、年々、皆さんの統計的な表現力の技術が磨かれていることにも注目しています。また、グループで協働で仕上げる作品は、国際統計グラフコンクールの基準でもあり、協働的問題解決力は世界共通の力として評価されます。これからも多くの作品の応募を期待しています。

特選

石橋信夫賞

遠い国の話じゃない! 深刻な日本の経済格差・教育格差

日本の経済格差
 <OECD加盟国36か国の相対的貧困率ランキング>
 (出典: Inequality-Poverty rate-OECD Data)

順位	国名	相対的貧困率
1	南アフリカ	25.6
2	コスタリカ	21.1
3	アメリカ	17.4
...
10	日本	15.7

日本は10位
かなり高い!!

ジニ係数による所得格差の推移
 2017年のジニ係数 = 0.5594
 ジニ係数の理想値は0.2~0.3。0.4を超えると危険水準。
 0.5594 > 0.4 ⇒ 経済格差ⓧ
 (出典: 厚生労働省「所得再分配調査」)

これらの経済格差により教育格差が生れてしまう

日本の教育格差
 <生活保護世帯と経済的に困窮していない世帯の偏差値の推移(国語)>
 10歳頃から学力に大きな差ができてくる。
 経済力と子供の学力に「関係はあるのか」
 関係はある!
 世帯収入が多くなるにつれて正答率が高くなっている。
 経済力と子供の学力には「正の相関」がある。
 (出典: 日本財団「家庭の経済力と子供の学力と非認知能力の分析(速報版)」)

学力が与える影響
 <自分にはよいところがあると思いませんか?>
 という質問に対する回答の割合
 D > C > B > A の順に「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と答えている割合が高い。
 ⇒ 学力が低いと自己肯定感が低い傾向がある
 (出典: 教育研究センター「令和3年度全国学力・学習状況調査」)

まとめ
 ⇒ 日本には、深刻な教育格差・経済格差がある。
 ⇒ 学力と世帯収入には密接な関係があり、この関係が負の連鎖を生みだし格差が広がる。
 ⇒ 学力は自己肯定感にも影響を与える。

考察
 経済的に貧困だと、習い事などに行けない。これは学ぶ機会、人と関わる機会、成功体験を得る機会などを奪ってしまうことになる。これが学力や自己肯定感の低下につながっているのではないが、このように、様々な格差は複雑に絡まりあって広がっていく。「収入」や「学力」は人や社会を構成する1つの要素だが、「それが全てである」という日本に根強く残る価値観は変えていく必要があるのではと思った。

日本の教育格差の背景には、下のよう負の連鎖が存在する
 親の貧困 → 子供の学力の低下 → 高い学歴を持っている人ほど年収が良い ⇒ 経済力ⓧ
 (出典: 厚生労働省「所得再分配調査」)

兵庫県神戸大学附属中等教育学校
4年 横山史織

多くの公表されている統計数値を参照しながら、日本の経済格差が教育格差を生み出す状況と負の連鎖の課題をまとめています。単に、経済格差をなくそうというのではなく、高校生である作者は、全国学力学習状況調査結果に表れる、生徒の「自己肯定感」との関連性も示した上で、「学力」や「経済力」に偏りがちな日本人の価値観にも論点を展開し、優れた作品に仕上がっています。石橋信夫賞受賞、おめでとうございます。

自己肯定感と投票率のつながり

～日本の若者の投票率を上げていくために～

仮説 「自己肯定感が上がれば投票率も上がる」 $\heartsuit = \square$

自己肯定感が高い = 社会の中に自分を認めている = 投票は当然の権利 = 投票に行く = 投票率 ↑
 自己肯定感が高い = 社会の中に自分を認めている = 投票しても差はない = 投票に行かない = 投票率 ↓

日本の現状

日本の投票率は先進国の中でも低いことが知られている。また、若者の投票率はさらに低い。これは、若者の自己肯定感が低いことと関係がある。自己肯定感が低いと、投票に行く必要を感じない。投票に行く必要を感じない = 投票率 ↓

① 投票率ランキング (2019年)

1	オランダ	89.2%
2	ドイツ	76.2%
3	イギリス	67.7%
4	韓国	62.6%
5	アメリカ	58.8%
6	日本	52.3%
7	フランス	42.7%

② 子ども若者は社会や政治について自分たちの意見を表明しやすいと思いますか？

説明しづらい理由？

- ① していいかわからない
- ② 社会から理解を得られない

自己肯定感の低下

③ 自己肯定感の定態

今の自分が好きか？

④ 世界との比較

⑤ 私は、自分自身に満足している

国	満足している	長所があると感じている	自分に役立たないと感じる
オランダ	89.2%	89.2%	89.2%
ドイツ	76.2%	76.2%	76.2%
イギリス	67.7%	67.7%	67.7%
韓国	62.6%	62.6%	62.6%
アメリカ	58.8%	58.8%	58.8%
日本	52.3%	52.3%	52.3%
フランス	42.7%	42.7%	42.7%

⑥ 特定の国や地域の担い手として積極的に政策決定に参加したい

⑦ 私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない

★ 自己肯定感を点数で比較

⑧ 散点図でまとめる

自己肯定感と投票率の関係

自己肯定感 ↑ = 投票率 ↑

自己肯定感 ↓ = 投票率 ↓

考察・まとめ

「自己肯定感が上がると投票率も上がる」と言える。

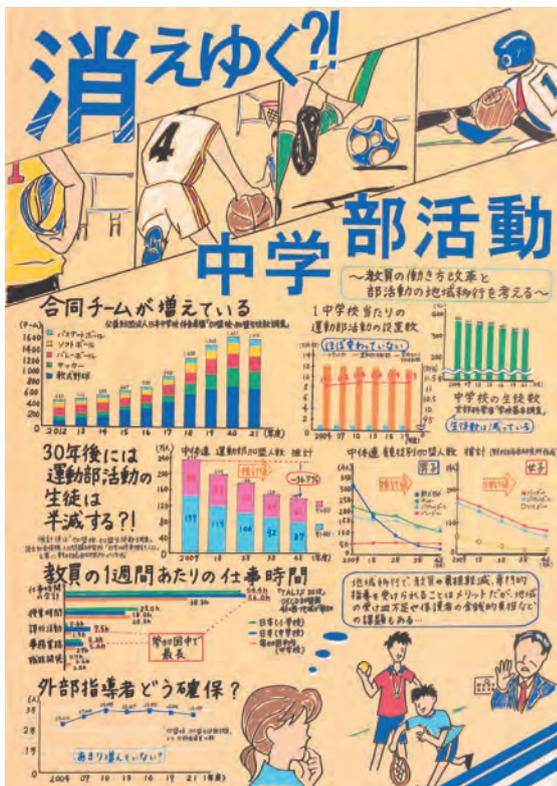
このことから、日本の若者の投票率を上げていくためには、自己肯定感を上げる必要があると考える。自己肯定感を上げるには、社会から理解を得ることが重要である。自己肯定感を上げるには、投票に行く必要を感じることが重要である。投票に行く必要を感じることが重要である。投票に行く必要を感じることが重要である。



広島県角川ドワンゴ学園N高等学校
3年 竹内 こころ

投票率の向上という難しい問題を若者の自己肯定感と関連付けて考察した作品で、様々な公表資料でロジックを組み立てており秀逸です。作品右下の散点図から読み取れる相関関係を、本作品の主題である自己肯定感から投票率の向上という因果的記述にするには慎重さが需要ですが、作者の問題意識と政策への期待がよく分かる作品に仕上がっています。入選一席、おめでとうございます。

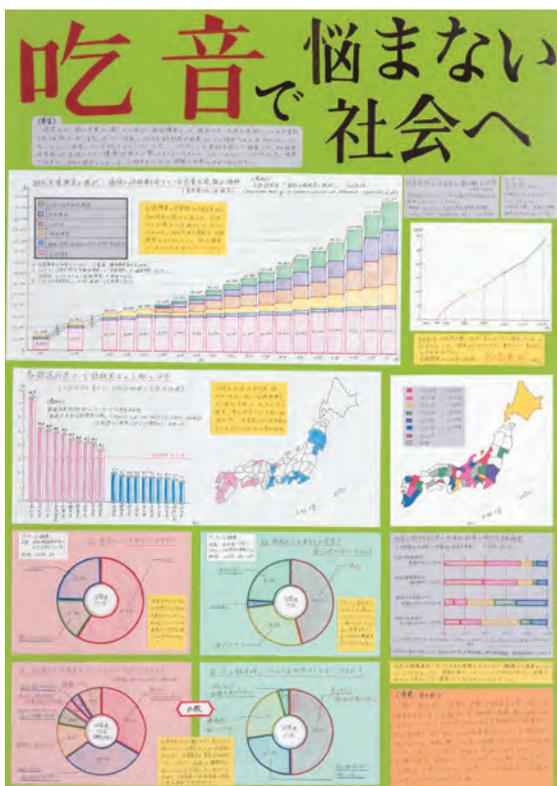
◎入選



宮城県 一般
佐藤 久美

中学部活動が抱える問題の現状と今後の推移に関して、公表資料を基に様々な統計グラフを作成しています。時系列的な推移を数量的に追うことでパターンを特定し、どういう点が今後、具体的に問題となるのかを考察しています。この状況を憂える作者の意図がよく分かる作品と言えます。

高等学校以上の生徒・学生及び一般



新潟県新潟県立津南中等教育学校
6年中 澤仁成

「吃音」という当事者以外は見落としがちな問題に焦点を当て、現状や対策の進行度を公表資料から示し、後半は独自アンケートによって、周囲の配慮への意識と吃音当事者の意識の違いを対比させました。対策に地域差があることやアンケートによって確認した上で、問題の対処はどうあるべきかの考察をしている点が評価されています。



スズメが減っているって本当？

全国鳥類繁殖分布調査 減少した鳥ワースト5

鳥の国際調査

各年代の総個体数の比較(ワツリ)

年代	1997-2021	2016-2021
スズメ	3,619	2,627
ツバメ	1,972	1,977
ツバキ	4,297	732
ヒメ	761	2,951
ヒヨドリ	2,155	772

スズメの減少が深刻
理由は、このままのペースで減り続けると将来的には絶滅危惧種に指定するなどの判断の可能性が出てくる」との理解を示している。

スズメはどこでなぜ減っているの？

統計から分かること

- スズメは農地で減少
- 農地率の低いところほどスズメの個体数が多い(1997-2021)
- 農地率の低いところほどスズメの減少が大きい(1997-2021)
- 都市部で増加傾向が強い

考えられる理由

- 農地による農地の減少
- 都市部による農地の減少
- 農地率の低いところほどスズメの減少が大きい

まとめ

スズメが減っていることはほぼはじき回っていたが、20年振りの本格的な調査によって大きく減少していることが分かった。今回の統計を通じて、鳥類の数値に分析によるスズメの減少に関する仮説が導かれたことは価値があるといえる。今後、仮説の検証とともにこのデータとさらに定義をのりしたい。

農地率と個体数の関係(ワツリ) 農地率と個体数の増減

1997-1997と2016-2021のスズメの個体数の増減(ワツリ)

参考文献

兵庫県神戸大学附属中等教育学校
4年 増田 咲希

私たちの最も身近にいる鳥類、スズメの減少の実態を公表された統計調査資料からまとめた作品で、特に、減少していることを示すだけではなく、どこでなぜ減少しているのかに踏み込んで、そのヒントを想起させるグラフを提示している点が作品の価値を高めています。並列箱ひげ図や色分けした分布図が説得力を増している評価に値します。

高等学校以上の生徒・学生及び一般

目指せ日本一！

だれもが働きやすい大分へ

大分県内の法定雇用率達成企業の割合と実雇用率と全国順位推移

実雇用率と雇用されている障がい者の数の推移

県内知的障がい特別支援学校における一般就労希望率と希望就労達成率の推移

雇用したことで課題と感じた点

障がいのある方を雇用しての感想

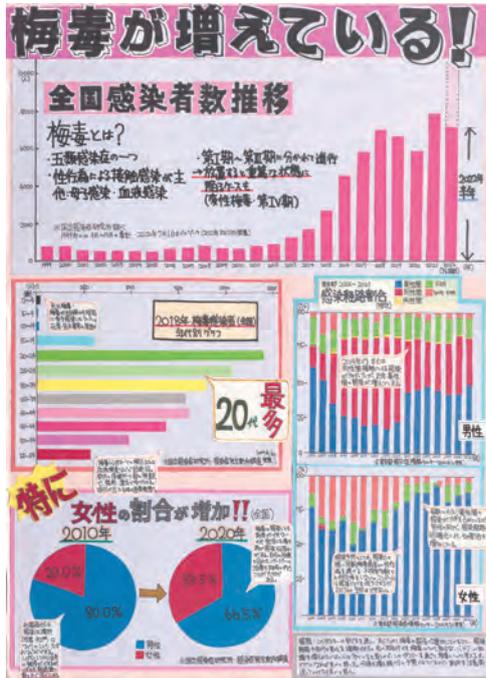
今年、雇用率が上がるなど雇用状況が良くなったという圏はあるが、最新の統計を見るとコロナウイルスの影響などで下がっている。障がいのある方も同じように働きやすい環境がさらに増えていくといいと思う。

雇用したことで良かったと感じた点

大分県大分県立鶴崎工業高等学校
2年 宇留島 優衣

障がい者雇用の状況を公開資料からグラフにまとめて提示することで、作者のメッセージが簡潔に伝わります。一つ一つのグラフの出典や凡例に分かりにくい箇所があったので、そこを丁寧に読み手に伝えたと更に良い作品になったと思います。全体の構成と配色が優れており、入選に値する優れた作品となっています。

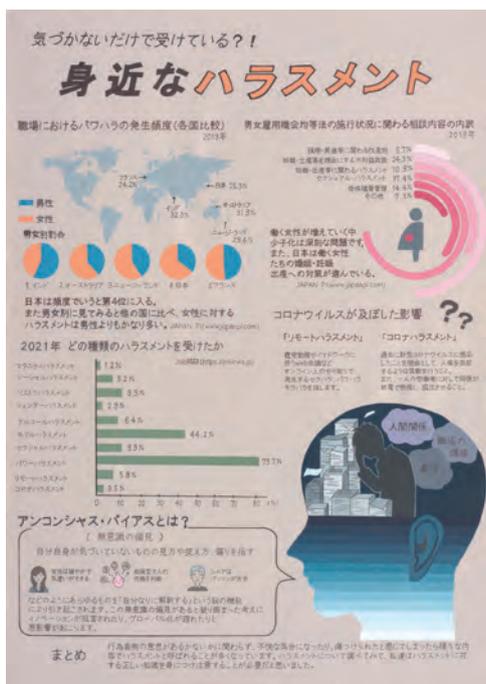
◎佳作



東京都吉祥女子高等学校
1年 森井 杏



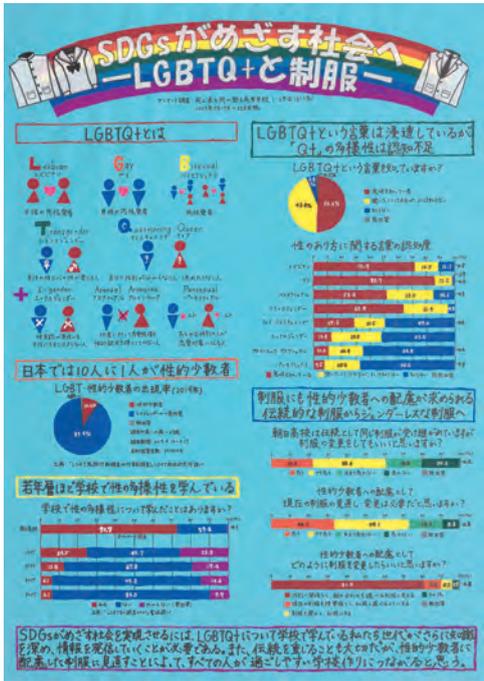
長野県長野屋代高等学校
1年 土田 柊・富田 陽仁
西村 響・竹内 大輔



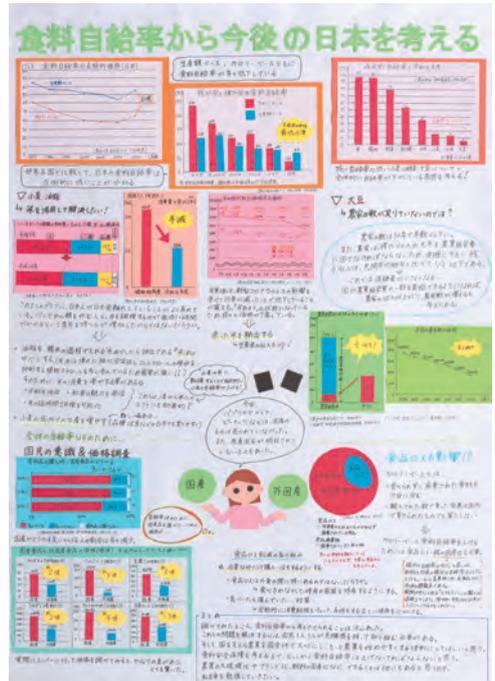
岡山県岡山県立津山工業高等学校
2年 福田 心愛



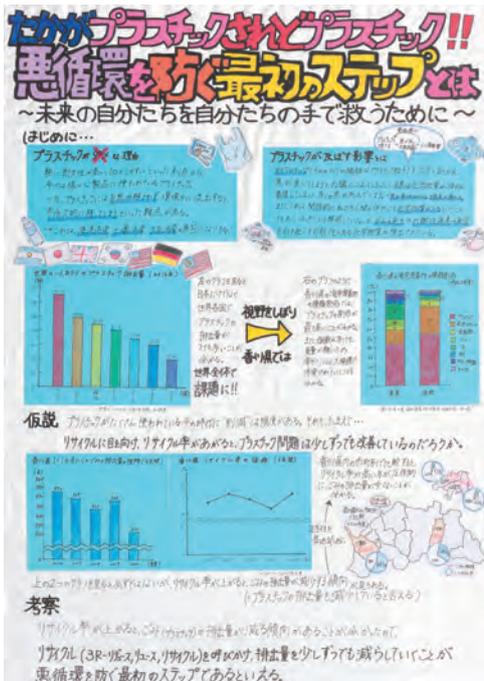
岡山県 一般
惣中 彩



岡山県岡山県立岡山朝日高等学校
2年 佐野文音



香川県香川県立観音寺第一高等学校
1年 篠原結衣



香川県香川県立観音寺第一高等学校
1年 川崎万結・森沙夏

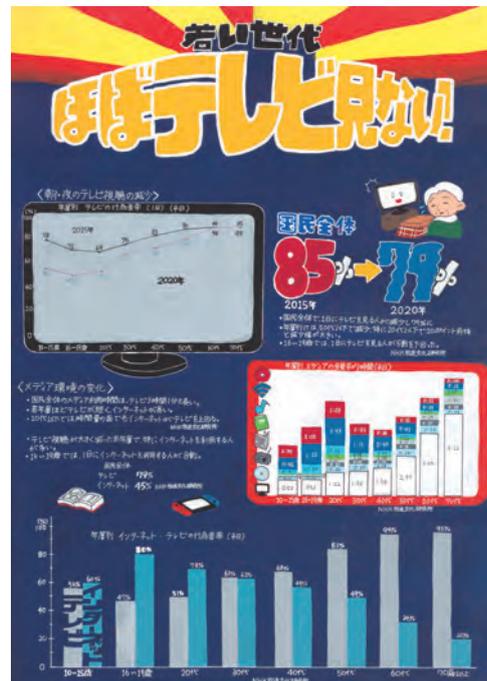


福岡県福岡県立戸畑高等学校
3年 久保涼香・栗原莉世
中村宙民・山田紗季

高等学校以上の生徒・学生及び一般



熊本県熊本県立第二高等学校
2年 井上心結



大分県大分県立鶴崎工業高等学校
2年 平野菜和

パソコン統計グラフの部

(小学校の児童以上)

— 概 要 —

この部門は、小学生から大人まで、パソコンを使った様々な統計グラフの作品が応募されてきます。データとコンピュータを駆使して、身近な課題を自分なりに分析し、その結果の解釈を誰もが分かるように統計グラフを交えて伝えていく、これは21世紀のデジタル社会では無くてはならない大事な力です。作品を仕上げる過程で、色々な技術が身に着くと同時に、データに基づく思考力や表現力も鍛えることができ、将来必要となるデータサイエンス力を獲得することにもつながります。特に、グループで仕上げる作品は、国際統計グラフコンクールの基準でもあり、協働的問題解決の学習にも役立ちます。是非、チャレンジしてみてください。



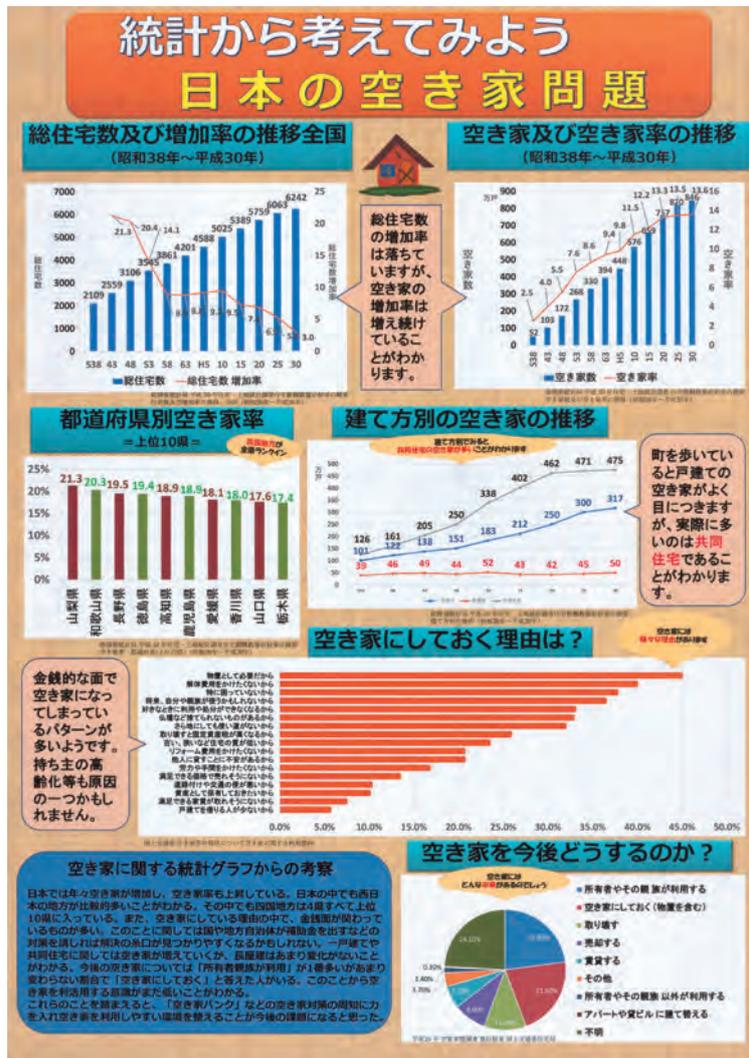
静岡県小山町立北郷中学校
1年 天野 克哉

作者が通う中学校の生徒145名の集計結果から、人によって睡眠時間の差が大きいこと、それが朝食摂取率、メディアの使用時間、授業への集中力、日中の眠気など、生活の要所要所と関連があることを、データの論理的な分析を通して示しました。「眠りすぎも調子を落とす」という結果の提示にも説得力があり、中学1年生とは思えない分析力の高さは、評価に値します。文部科学大臣賞、おめでとうございます。

小学校の児童以上

入選 パソコン統計グラフの部

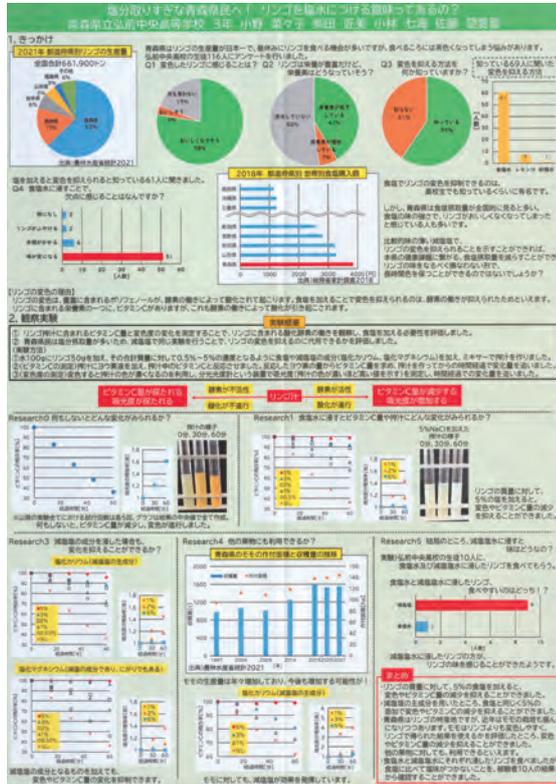
小学校の児童以上



新潟県新潟県立阿賀黎明高等学校
1年 伊藤 惺 蓮

人口減少時代を迎えた日本にとって、どの地域も空き家の増加が大きな負担になってきます。作者は、空き家に関して県別の統計や構造別の統計資料を用いて、状況を適切に表現するグラフをPCで作成しています。特に、実数と増加率の双方を2軸で表現する複合グラフを描くことで、誰もが状況を理解できる作品に仕上がっています。入選一席、おめでとうございます。

入選

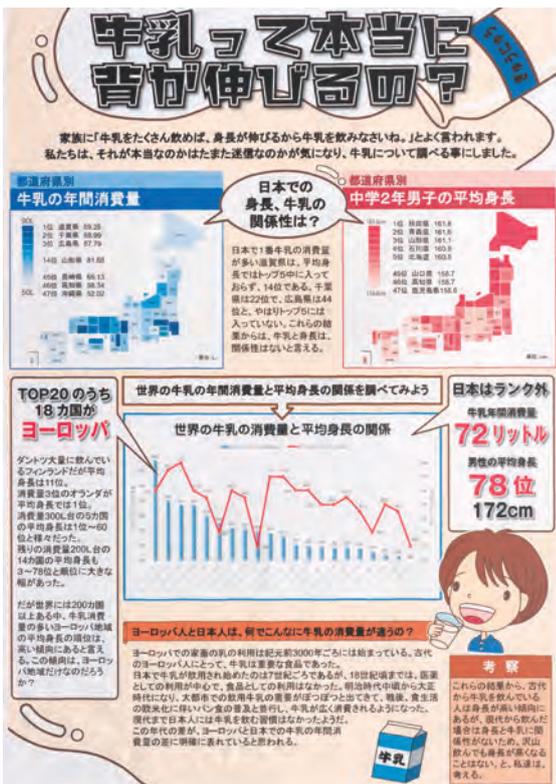


青森県青森県立弘前中央高等学校

3年 小野 菜々子・柴田 匠美
小林 七海・佐藤 望愛留

地域の特産品であるリンゴや桃の食べ方と健康への課題までを包括して、減塩塩の使用の提案がなされています。その提案の根拠を丁寧にデザインされた実験結果で示している非常に優れた作品です。5回の繰り返し実験の結果を中央値で代表させるなど統計指標の選択にも工夫があり、同時に、作者等がグループでの実験や考察を楽しんでいる過程で統計的な探究力が発揮されている様子が想像できます。

小学校の児童以上



山形県山形大学附属中学校

3年 羽生 桃花・東海林 心花

都道府県別牛乳消費量と平均身長をそれぞれ地図上でヒートマップに表現することで、牛乳消費量と身長との関係を可視化したグラフ技術は素晴らしく、その考察でも、視覚効果だけに頼らず、具体的な順位も含めて具体的に説明しています。また、世界の国を単位に、牛乳消費量と身長との関連の有無を表現した複合グラフもよくできていますが、相関と因果に関してより深い考察が望まれます。



ロードキルを防ぐ

千葉県立長生高等学校 ロードキル対策チーム
 本学特務員 高橋正美（2年）
 高橋延太 瀧口和都 上田将剛（3年）

研究の目的
 ロードキルを防止し、ヒトと野生動物の接触を減らすこと
 を目的に、具体的な対策を講じる前に、野生動物との事故
 事例について調査をすすめる。対象は、特に一般市民に
 広く知らしめることで対策にもつなげる。

調査・分析 全体の流れ
 (1) 4月～6月に千葉県自治体に問い合わせられた前期年度データを分析
 (2) 情報の調査状況、自治体間の情報へのアクセスしやすさを調べる。
 (3) 発生頻度の高い、動物の種類ごとの特徴の調査を行う。さらに、
 (4) 同じ種類の情報を統合し、分析する。自治体間、自治体も関係に分析
 可能なデータを集める。

分析① データへのアクセス(4月から6月)
 千葉県自治体
 千葉県あり
 データなし
 61年度データ 62年度データ

分析② 市町村別データの分類
 自治体 自治体別データ
 千葉県 千葉県自治体
 市町村別データ
 千葉県自治体
 市町村別データ
 千葉県自治体
 市町村別データ

③ 野生動物 個別データ(分類A1, A2, B1を合併)
 ロードキル合計数(市町村別)
 人口の多い自治体
 人口の少ない自治体
 野生動物の種類
 発生頻度の多い
 発生頻度の少ない

④ 動物種別分析 対象: 月別データ(A1データ)
 野ウサギ
 ザシキ

【考察1】 種のグラフと集積
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 発生頻度の多い 発生頻度の少ない
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 発生頻度の多い 発生頻度の少ない

【考察2】 種のグラフと集積
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 発生頻度の多い 発生頻度の少ない
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 発生頻度の多い 発生頻度の少ない

⑤ 首都圏でのロードキル(62年度)
 首都圏自治体別データ
 発生頻度の多い 発生頻度の少ない

【考察3】 発生する環境に注目し、その周辺道路の対策を提案する。動物の発生ご
 との対策を提案する。

【考察4】 データを提供していただいた千葉県内の自治体や関係
 機関、首都圏自治体との連携を促す。

千葉県千葉県立長生高等学校
 3年 上田 将刚 ・ 渡邊 雄太
 瀧口 和都
 2年 平本 詩音 ・ 北根 孟実

作品全体において統計的探究の各ステップを
 丁寧に記述しており、特に、入手が容易なデー
 タから入らずに、自分たちで統計情報を作る過
 程から取り組んでいる点は評価に値します。ま
 た、集計にとどまらず、得られた結果の背景へ
 の考察や対策までしっかりと練られており、質
 の高いグループでの探究活動の成果になってい
 る優れた作品です。

小学校の児童以上

生理の貧困

～トイレにナプキンを当たり前に～

【テーマについて】
 専攻で「生理」というのは女性のデリケートな話題として扱われて
 いないのが、授業の中で話題にする機会がほとんどありません。
 女子大生で女子大生として、女性が発する悩みや問題を解決し
 たいという熱意から「生理の貧困」というテーマを扱うことを決
 意した。

【今ある取り組み】
 ● 無料トイレに生理用品を配布し、アプリをダウンロードした人
 様に提供されるサービス(無料配布サービス)
 ● 生理用品入手困難な学生1,000人に対して、アンケートに回答すること
 を促し、そのデータを分析し、アプリと連携して生理用品配布サー
 ビス(無料配布サービス)
 ● 学生自治会が生理用品の配布に賛同し、生理用品が不足しないように
 生理用品の配布サービス(無料配布サービス)を実施する

【現状】
 1. 生理用品の入手が困難な学生は約1,000人
 2. 生理用品の入手が困難な学生は約1,000人
 3. 生理用品の入手が困難な学生は約1,000人

【課題点】
 生理用品の入手、入手に苦労している学生が多い。グラフ、グラフ
 取り組みがされているとは認識されていない。グラフ
 取り組みがされているとは認識されていない。グラフ
 取り組みがされているとは認識されていない。グラフ

【提案】
 ● 無料配布サービスのアプリをダウンロードして配布を受けること
 を可能にする
 ● 個人を識別できないようにして配布を受けることにより配布を受ける
 ことができるようにする
 ● 配布を受けることで、経済的に生理用品入手困難な状況を変える
 ● 配布を受けることで、経済的に生理用品入手困難な状況を変える
 ● 配布を受けることで、経済的に生理用品入手困難な状況を変える

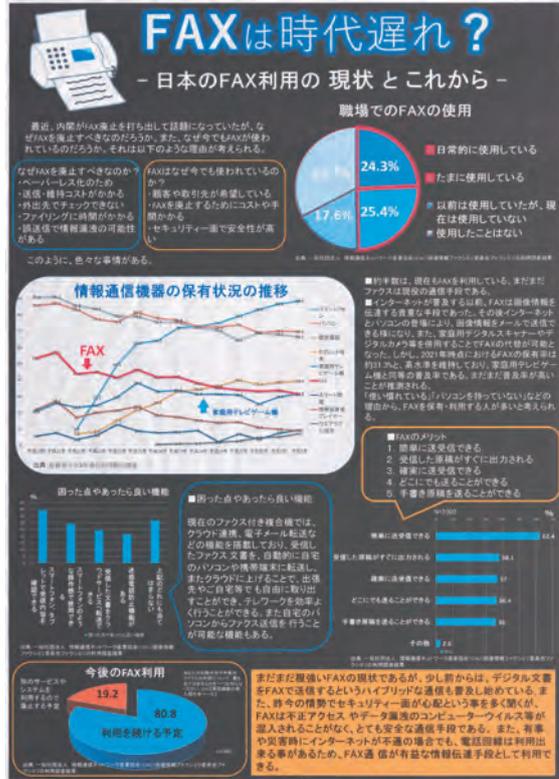
東京都実践女子大学
 3年 中田 陽菜 ・ 三浦 未乃梨
 山口 瑞友 ・ 田中 千秋

女性ならではの課題への気づきと、政策不足
 や効果が発揮されていない原因への考察、その
 対策への提言など、しっかりとしたロジックが展
 開されている優れた作品です。根拠となる一つ
 一つの統計グラフの配置も適切で、問題を統計
 で発信・啓発し解決していく作者たちの姿勢が
 とても頼もしく感じられます。

入選 パソコン統計グラフの部

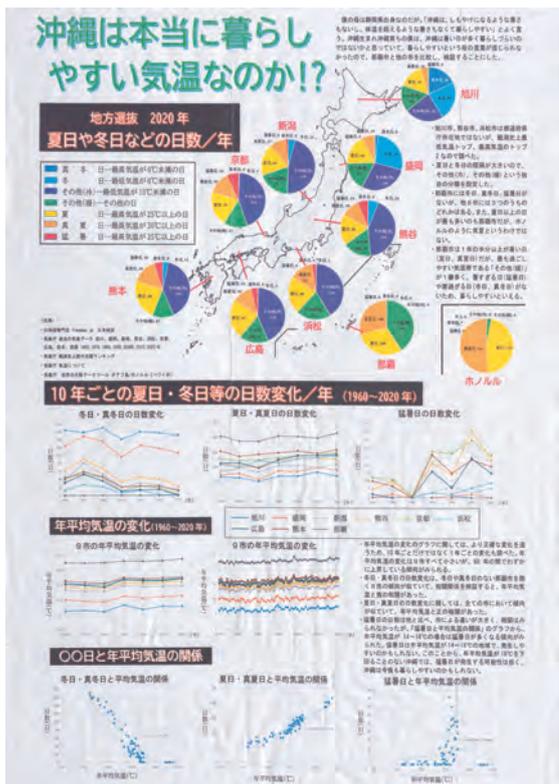
東京都渋谷教育学園渋谷中学校
2年 山澤 綾乃

作者は、日常の変化の中で見落とされがちなテーマを選択し、その背景と是非を丁寧に統計資料で説明しています。私たちは何も考えずにどんどん便利な機器に乗り換えていっていますが、一旦、そのメリットとデメリットを整理しておく必要があることに気づかされる、説得力のある作品です。



沖縄県沖縄県立開邦中学校
2年 宮城 昌宗

地域の「暮らしやすさ」をどのような指標とグラフ表現で示すのかに関して、作者なりの工夫が見られます。円グラフを主にした地図グラフで、「その他」の面積は確かに那覇が大きく、説得力があります。中学ではまだ学習していない散布図や相関関係への解釈にもチャレンジした意欲的な作品になっています。

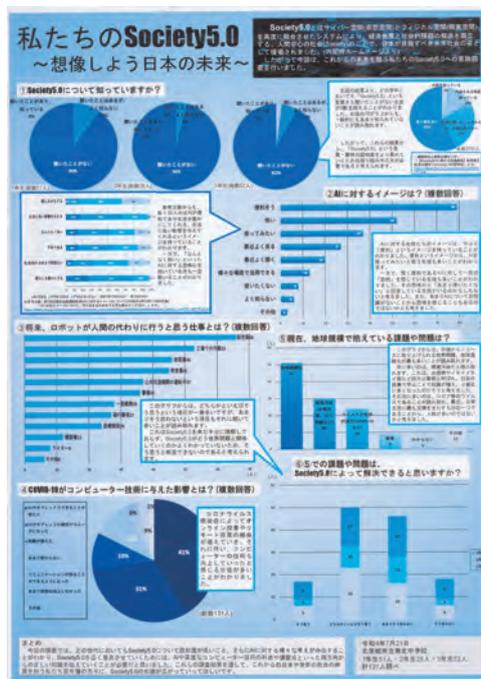


佳作：パソコン統計グラフの部

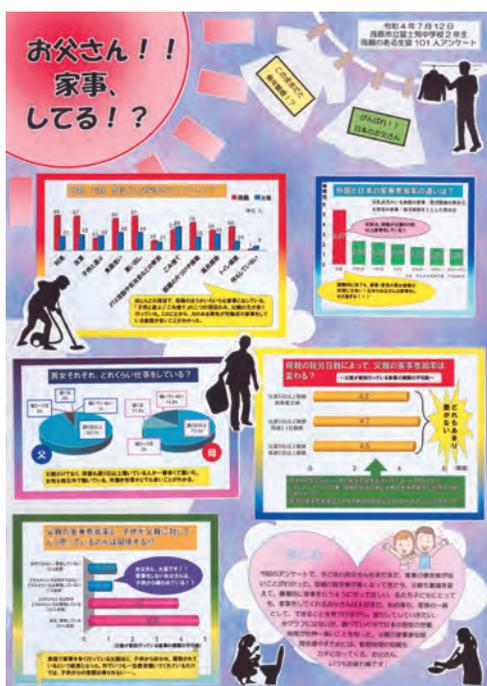
◎佳作



北海道北海道教育大学附属札幌中学校
2年 米田 頼正



茨城県北茨城市立常北中学校
3年 石川 海輝



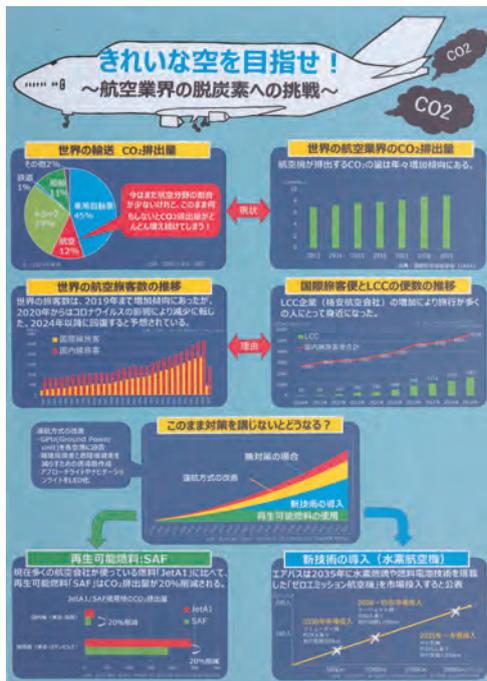
千葉県茂原市立富士見中学校
2年 石井 杏



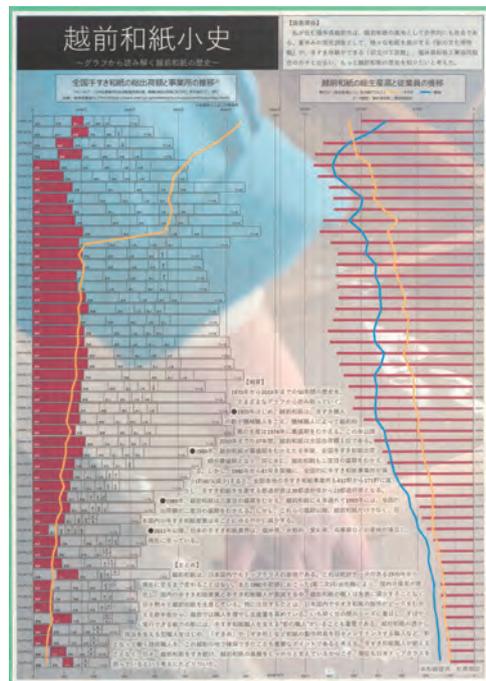
神奈川県慶應義塾湘南藤沢中等部
2年 小林 伶央

小学校の児童以上

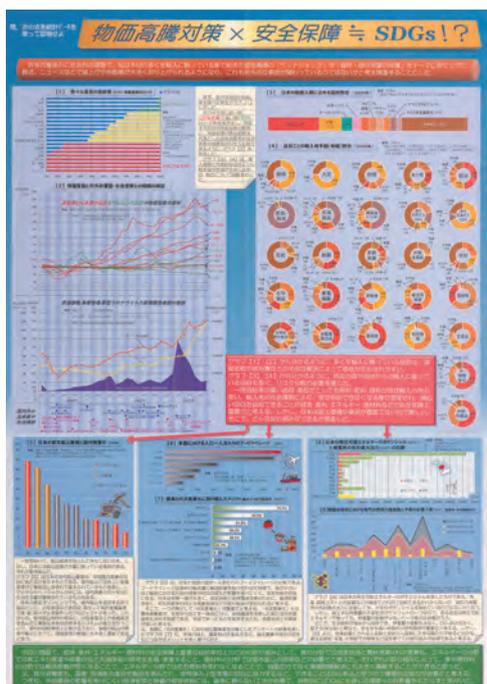
佳作：パソコン統計グラフの部



神奈川県慶應義塾湘南藤沢中部
2年 大 図 涼 太



福井県越前市武生第一中学校
1年 杉 原 孝 明



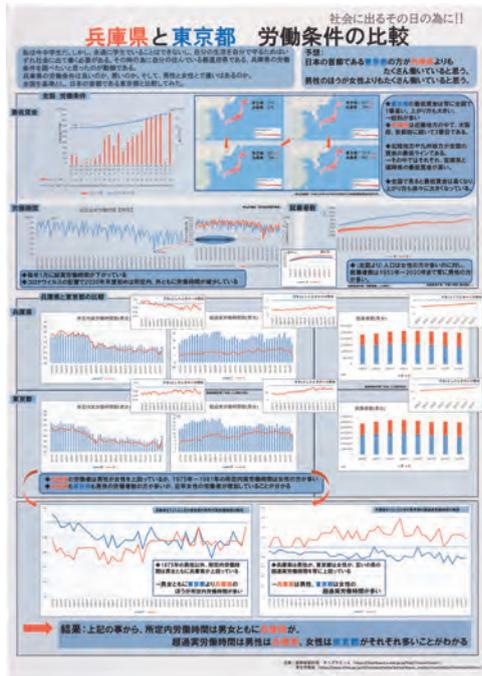
長野県長野県屋代高等学校附属中学校
2年 宮 澤 希 成



岐阜県大垣市立東中学校
3年 安 井 慧 一

小学校の児童以上

佳作：パソコン統計グラフの部



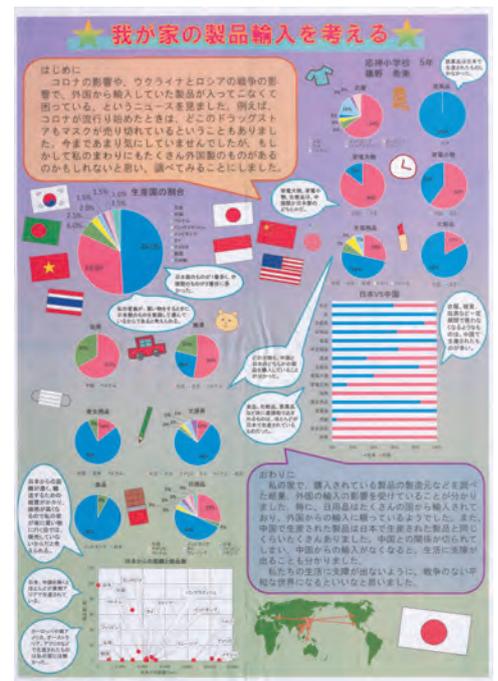
兵庫県丹波市立柏原中学校
3年 山下 遥花



和歌山県和歌山県立桐蔭高等学校
1年 西井 颯 杜



広島県東広島市立西条中学校
3年 和泉 光太郎 · 辻 雄 仁
2年 西山 啓 太

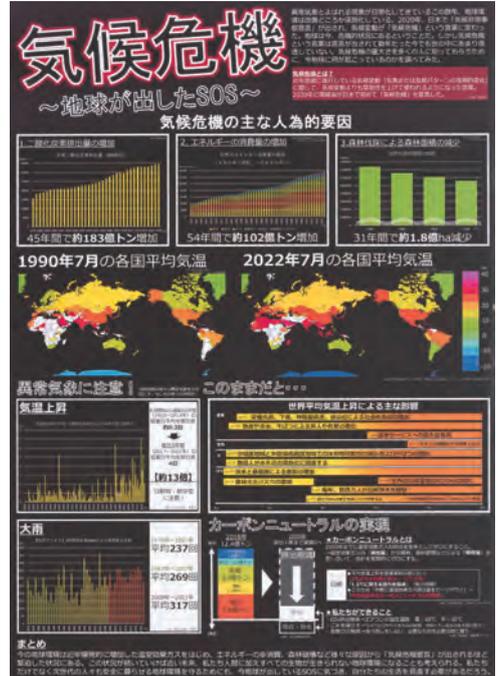


徳島県徳島市応神小学校
5年 榎野 希 美

小学校の児童以上

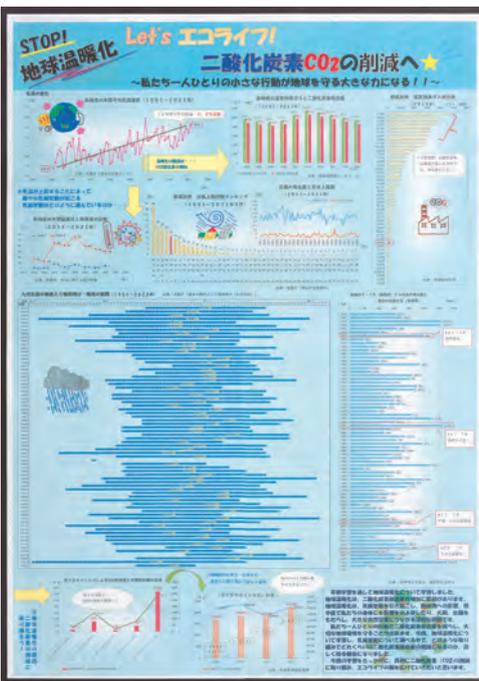


愛媛県松山市立鴨川中学校
1年 佐伯 桃奈

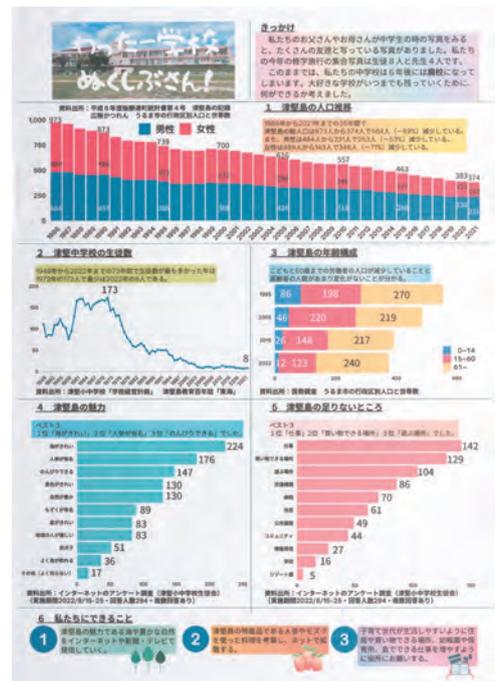


佐賀県佐賀大学教育学部附属中学校
2年 田口 夢彩

小学校の児童以上



長崎県南島原市立有家中学校
3年 隈部 美有



沖縄県うるま市立津堅小中学校 (中学生)
2年 安里 陽菜・宮城 瑛 兎
1年 玉城 龍 希・仲村 鈴 愛
宮城 愛 兎

第70回統計グラフ全国コンクール入選作品集の講評者

- 実践女子大学人間社会学部教授 竹内 光悦
 - 第1部（小学校1・2年生の児童）
 - 第2部（小学校3・4年生の児童）
 - 第3部（小学校5・6年生の児童）

- 立正大学データサイエンス学部教授 渡辺 美智子
 - 第4部（中学生の生徒）
 - 第5部（高校生以上の生徒・学生及び一般）
 - パソコン統計グラフの部（小学校の児童以上）

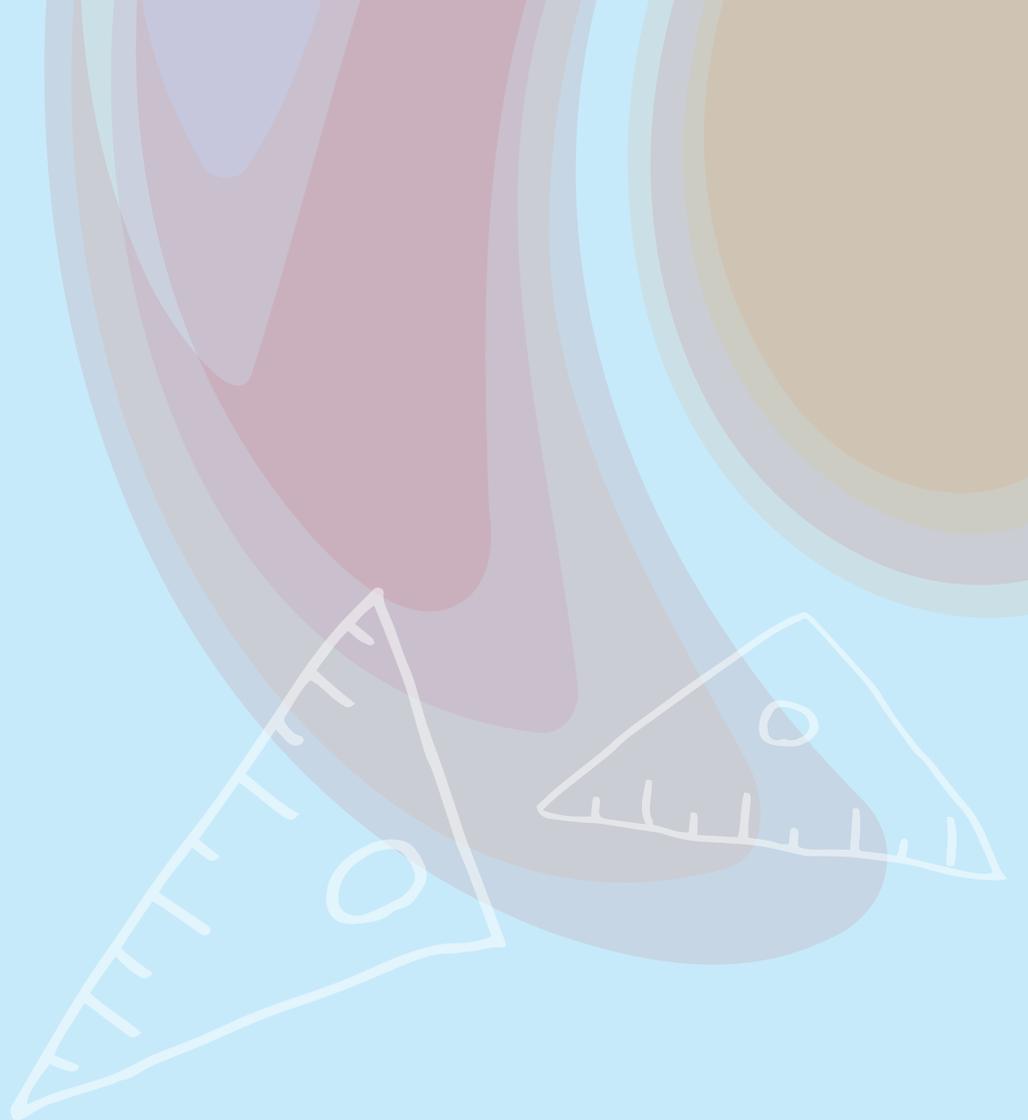
第70回統計グラフ全国コンクール入賞作品集

令和5年3月発行

編集・発行 総務省政策統括官（統計制度担当）付
統計企画管理官室

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

※ 引用・転載する場合は、出典「第70回統計グラフ全国コンクール入賞作品集（総務省）」の表記をお願いします。



公益財団法人統計情報研究開発センターホームページ
「統計グラフ全国コンクール」

<https://www.sinfonica.or.jp/tokei/graph/index.html>